

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	○千葉大学、芝浦工業大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	ソーシャル・デザイン・イニシアティブ		
	【英文】	SDI-A : Social Design Initiative in Asia		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった 場合のみ記入	(氏名)	植田 憲	(所属・職名) デザイン・リサーチ・インスティテュート長	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1	※追加大学無し		
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://socialdesigninitiative.studio.site/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		12	12	12	24	24	36	36	48	48	48	132
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	0	0	12	6	18	12	24	18	24	36	78
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	12	12	12	12	18	18	24	24	30	24	96	90

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		12	12	12	24	24	36	36	48	48	48	132
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	0	0	12	6	18	12	24	18	24	36	78
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	12	12	12	12	18	18	24	24	30	24	96	90

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度							
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入						
		48	27	123	151	163	115	122	174	0	0					
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	0	0	31	28	59	55	58	70								
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	0	A	0	A	9	A	40	A	0	A	0	A	0	A	
	B	47	B	27	B	80	B	81	B	97	B	57	B	55	B	95
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	1	0	3	2	7	3	9	9								
達成目標に対する実績の割合	400%	225%	1025%	629%	679%	319%	339%	363%	0%	0%						

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数		48	27	120	148	157	113	114	168	0	0	439	456
交流相手国 中国	実渡航					11	16	18	18			29	34
	オンライン	A	A	A	A 33	A	A	A	A	A	A	0	33
		B	B	B	B 24	B	B	B	B	B	B	0	24
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 韓国	実渡航			8	14	19	22	18	22			45	58
	オンライン	A	A	A	A 7	A	A	A	A	A	A	0	7
		B	B 47	B 27	B 50	B 57	B 97	B 57	B 55	B 95	B	B	249
	ハイブリッド	1			2	1	2		4			2	8
交流相手国 ASEAN	実渡航			20	11	24	15	14	24			58	50
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0
	ハイブリッド			2		1	1	3	5			6	6
交流相手国 中国及び韓国	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A 9	A	A	A	A	A	A	A	9	0
		B	B	B 30	B	B	B	B	B	B	B	B	30
	ハイブリッド							1				1	0
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0
	ハイブリッド					3		5				8	0
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0
	ハイブリッド			1		1						2	0
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0
	ハイブリッド											0	0
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	3	3	6	2	8	6	0	0	17	11
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0
	ハイブリッド					1		0	0			1	0

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	40	68	59	55	58	70	0	0
実渡航			31	28	59	55	58	70		
オンライン	A	A	A 9	A 40	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	48	27	83	83	102	58	64	102	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B 47	B 27	B 80	B 81	B 97	B 57	B 55	B 95	B	B
ハイブリッド	1		3	2	5	1	9	7		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	2	2	0	2	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド					2	2	0	2		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	1	0	10	0	41	0	48	0			100	0

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	24	57	69	105		255

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

オンラインを含めない実渡航した学生に限っても計画よりも186%増の67人（Long-term SDI 9人、Intensive SDI 58人）の派遣が実施でき、オンライン（55人）を含めると合計122人の学生を派遣することができた。さらに昨年度と比較すると66人→67人（Long-term SDI 7人→9人、Intensive SDI 59人→58人）と微増ではあるが、コロナ禍が終息し着実に伸びており、今後も引き続き増加に努めたい。

【特に優れた取組】

Intensive SDIの派遣について、2024年度は計6回（7月@浙江大学、8月@延世大学、8月@浙江工業大学、1月@KMUTT、2月@Sebelas Maret University、2月@延世大学）実施することができ、昨年度6回と同様の数を実施することができた。また昨年度スタートしたインドネシアでも2月に実施することができ、着実に連携地域、連携機関を拡大につながる活動が行えた。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

オンラインを含めない実渡航した学生に限っても、計画よりも165%増の79名（Long-term SDI 9人、Intensive SDI 70人）の学生を受け入れた。さらに2つのOnlineジョイントクラスを実施することにより、合計で95人の学生をオンラインで受け入れることができ、合計174人の学生を受け入れることができた。さらに昨年度と比較すると58人→79人（Long-term SDI 3人→9人、Intensive SDI 55人→70人）と136%増であり、コロナ禍が終息し着実に伸びており、今後も引き続き増加に努めたい。

【特に優れた取組】

Intensive SDIの受入について、2024年度は計2回（11月（ソウル科学技術高等学校、明知中学校、ITB）、2月（浙江大学、延世大学、KMUTT、ITB、中国美術学院、湘潭大学））実施することができた。また本取組の中心活動であるLong-term SDIに関しては、昨年の3人から大幅に増加し9人の学生を受け入れることができ、着実に連携地域、連携機関を拡大につながる活動が行えた。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(4) 【交流相手国別の交流学生数 内訳】 (実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		48	27	125	151	168	115	130	174	0	0	471	467
中国	実渡航	0	0	0	0	11	16	20	20			31	36
	オンライン	0	0	9	57	0	0	5	25			14	82
	ハイブリッド	0	0	0	0	3	0	6	0			9	0
韓国	実渡航	0	0	9	24	22	23	22	24			53	71
	オンライン	47	27	80	64	97	57	50	70			274	218
	ハイブリッド	1	0	1	2	3	2	1	4			6	8
タイ	実渡航	0	0	22	4	13	8	6	10			41	22
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	2	0	1	1	3	4			6	5
マレーシア	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	2	0	0	1			2	1
インドネシア	実渡航	0	0	0	0	13	8	10	16			23	24
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	1	0	4	0			5	0
シンガポール	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	2	0	1	0	2	0			5	0
ベトナム	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	1	0	1	0			2	0

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	2	2	2	2	6	6	8	8	12	12

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：千葉大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
浙江大学	認定者数	8	8	8	8	8
	認定単位数	1	2	2	2	2
延世大学	認定者数	8	8	8	8	8
	認定単位数	1	2	2	2	2
マヒドン大学 他	認定者数			4	6	12
	認定単位数			2	2	4
年度別認定者数合計		16	16	20	22	28
年度別認定単位数合計		2	4	6	6	8

2. 国内連携大学 【大学名：芝浦工業大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
浙江大学	認定者数	4	4	4	4	4
	認定単位数	1	2	2	2	2
延世大学	認定者数	4	4	4	4	4
	認定単位数	1	2	2	2	2
マヒドン大学 他	認定者数			2	6	6
	認定単位数			2	2	4
年度別認定者数合計		8	8	10	14	14
年度別認定単位数合計		2	4	6	6	8

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	1	0	2	3	3	2	4	4		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：千葉大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
延世大学（大学院）	認定者数	1	4	2	0	
	認定単位数	10	10	10	0	
延世大学（学部）	認定者数	6	6	0	0	
	認定単位数	12	12	0	0	
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		7	10	2	0	0
年度別認定単位数合計		22	22	10	0	0

2. 国内連携大学 【大学名：芝浦工業大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
KMUTT	認定者数	0	11	5	0	
	認定単位数	0	22	10	0	
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	11	5	0	0
年度別認定単位数合計		0	22	10	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	東京大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	アジアの国際関係・公共政策：DD、交換留学、オンライン教育のための BESETO + NUS共同教育基盤形成		
	【英文】	BESETO + NUS Platform for the Double Degree, Exchange and Online Learning Programs on International and Public Policy Studies in Asia		
事業責任者 <small>※交替年月日は変更があった 場合のみ記入</small>	(氏名)	川口 大司	(所属・職名) 大学院公共政策学教育部長	
	(交替年月日)	令和6年4月1日		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 <small>※追加調査を提出した 大学のみ記入</small>	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				

大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL

※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/intl-activities/global/d03_01_04.html

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	13	12	10	12	10	11	12	12	12	12	57	59
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	7	10	9	11	9	11	25	32
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	6	11	6	0	3	1	3	1	3	1	21	14
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	7	1	4	12	0	0	0	0	0	0	11	13

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	13	12	10	12	10	11	12	12	12	12	57	59
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	7	10	9	11	9	11	25	32
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	6	11	6	0	3	1	3	1	3	1	21	14
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	7	1	4	12	0	0	0	0	0	0	11	13

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	12	11	14	12	11	14	13	14	0	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	9	0	11	14	13	14		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A 6 B 0	A 8 B 0	A 2 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	6	3	3	12	0	0	0	0		
達成目標に対する実績の割合	92%	92%	140%	100%	110%	127%	108%	117%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計						
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入					
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	11	11	12	12	11	14	13	14	0	0	47	51					
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	2	7	6	6			8	13				
	オンライン	A	6	A	6	A	1	A	0	A	0	A	0	A	0	7	6
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	3	7	0	0	0	0			3	7					
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	8	0	7	5	5	7			20	12				
	オンライン	A	0	A	2	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	2
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	4	3	0	4	0	0	0	0			4	7					
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	2	2	2	1			4	3				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	1	0	0	1	0	0	0	0			1	1					
交流相手国 中国及び韓国	実渡航											0	0				
	オンライン	A		A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド												0	0				
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航											0	0				
	オンライン	A		A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド												0	0				
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航											0	0				
	オンライン	A		A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド												0	0				
交流相手国 中国、韓国及び ASEAN	実渡航											0	0				
	オンライン	A		A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド												0	0				
自己負担又は大学負担等による交流学生数		1	0	2	0	3	0	7	0	0	0	13	0				
	実渡航	0	0	1	0	3	0	7	0			11	0				
	オンライン	A	0	A	0	A	1	A	0	A	0	A	0	A	0	1	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	1	0	0	0	0	0	0	0			1	0					

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑤：【交流形態別 内訳】（計画）

●申請時の計画調書記載人数

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	13	12	10	12	10	11	12	12	12	12
	オンライン	0	0	0	0	7	10	9	11	9	11
	ハイブリッド	6	11	6	0	3	1	3	1	3	1
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	7	1	4	12	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										

●海外相手大学追加調書分

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン										
	ハイブリッド										

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	12	11	14	12	11	14	13	13	0	0
実渡航	0	0	9	0	11	14	13	13		
オンライン	A 6	A 8	A 2	A 0	A 0	A 0	A 0	A 0	A	A
B	B 0	B 0	B 0	B 0	B 0	B 0	B 0	B 0	B	B
ハイブリッド	6	3	3	12	0	0	0	0		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したものと
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	6	3	12	11	11	14	13	14			42	42

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	5	7	11	10		33

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

2024年度（令和6年度）の学生派遣は、全て実渡航により行った。派遣人数は13名で、申請時の計画を上回った。内訳は北京大学へ6名（ダブルディグリー3名、交換留学3名）、ソウル大学校へ5名（交換留学5名）、シンガポール国立大学へ2名（ダブルディグリー2名）であった。

【特に優れた取組】

日本人学生が多く在籍するコース入学予定者をメインターゲットとできるよう、参加学生のリクルート方法について常に熟考し、募集するたびにこまめに説明会や相談会を開催し、進学予定の学生を平均して10人前後参加した。

主に4月の入学者をターゲットとして入学ガイダンスや入試説明会、留学説明会での呼びかけを行い、秋以降は4月入学予定者向けに説明・相談会を開催して参加者募集を行い、令和7年度以降の派遣学生を選抜した。ダブルディグリーによる令和6年度の本学修了者は12名（東京大学5名、北京大学3名、ソウル大学校4名）に上り、質の保証を伴った学位プログラムとしての実績に貢献した。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

2024年度(令和6年度)の学生受入は、すべて実渡航により行った。受入人数は18名で、申請時の計画を上回った。内訳は、北京大学から10名(ダブルディグリー6名、交換留学4名)、ソウル大学から7名(ダブルディグリー6名、交換留学1名)、シンガポール国立大学から1名(交換留学)であった。

本大学院では教職員がほぼ全員英語対応可能であることから、渡日にかかるサポートをはじめ、単位認定、履修相談などのサポートも英語で効果的に行われた。本学における取組はダブルディグリーと交換留学による学生交流を基本としているが、単なる学生の受入にとどまらないプログラムの特徴的な取り組みであるキャンパスアジア・ジョイントコースという授業では、プログラム生以外から特にASEAN出身の学生の参加を呼び掛けている。

2024年度は日本銀行、財務省、復興庁へ訪問し現役官僚とのディスカッション、特別講義で来校した黒田東彦日銀元総裁との英語での対話等を行うことにより、公共政策大学院の学生が実際の政策を学ぶ機会を提供することができた。また、昨年度好評だった福島県へのフィールドトリップを再び行い、2023年大熊町に開校した「学び舎・ゆめの森」、震災遺構浪江町立請戸小学校、東日本大震災・原子力災害伝承館などを視察した。そして、食関連業界を横断した復興側と支援側をつなぐ活動をしている「一般社団法人東の食の会」専務理事や浪江町行政区長会会長とのディスカッション、ボランティアで参加したキャンパスアジア6名の修了生や浜通りコミュニティとの交流会を通して多くの学びを得た。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数	6	5	4	5
北京大学	認定単位数	69	77	59	51	51
	認定者数	6	4	4	5	5
ソウル大学校	認定単位数	43	33	33	51	51
	認定者数	1	1	2	2	2
シンガポール国立大学	認定単位数	18	18	36	36	36
	認定者数合計	13	10	10	12	12
年度別認定単位数合計		130	128	128	138	138

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数				
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数合計	0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	3	3	2	3	3	3	3	3		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数	6	2	3	3
北京大学	認定単位数	65	19	36	29	
	認定者数	4	6	2	3	
ソウル大学校	認定単位数	43	39	17	33	
	認定者数	1	0	0	2	
シンガポール国立大学	認定単位数	15	0	0	25	
	認定者数合計	11	8	5	8	0
年度別認定単位数合計		123	58	53	87	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数				
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数合計	0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	東京藝術大学		
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。	
事業名	【和文】	日中韓+ASEANの文化・経済圏発展に向けた、アニメーション教育・研究のための共創プラットフォーム構築	
	【英文】	Asian Animation Education Network: Establishment and Management	
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	岡本 美津子	(所属・職名) 映像研究科・教授
	(交替年月日)		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名
		(日本語表記)	
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
10			

大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL
 ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用

<https://animation.geidai.ac.jp/>
<https://ca.geidai.ac.jp/>

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	1	2	8	15	10	19	10	19	10	19	39	74
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	2	2	3	3	3	3	3	3	11	11
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	1	2	1	3	2	6	2	6	2	6	8	23
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	10	5	10	5	10	5	10	20	40

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	1	2	8	15	10	19	10	19	10	19	39	74
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	2	2	3	3	3	3	3	3	11	11
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	1	2	1	3	2	6	2	6	2	6	8	23
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	10	5	10	5	10	5	10	20	40

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	15	12	19	46	11	57	19	63	0	0
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	0	0	12	19	5	27	12	47		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
	B	15	B	12	B	7	B	27	B	0
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	6	16	7	16		
達成目標に対する実績の割合	1500%	600%	238%	307%	110%	300%	190%	332%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	15	12	19	46	11	57	19	63	0	0	64	178			
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	0	1	1	0			1	1		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	21	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	3	5			3	5		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	6	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	16	0	26	0	0			0	42		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	24			0	24		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	7	B	0	B	14	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	6	16	7	16			13	32			
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国、韓国及び ASEAN	実渡航	0	0	12	3	5	0	8	18			25	21		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	15	B	12	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	16	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	1	1		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	7	11	6	30	8	16	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	1	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 7	A 0 B 11	A 0 B 0	A 0 B 14	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	6	16	7	16		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	15	12	12	3	5	26	10	46	0	0
実渡航	0	0	12	3	5	26	10	46		
オンライン	A 0 B 15	A 0 B 12	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	1	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 16	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したものと
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について(実績) ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	15	19	11	19		64

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

2024年度のCo-workプログラムでは、本学の学生7名が中国伝媒大学に派遣された。「ブレ企画ステージ」として、対面共同制作に入る前に4回、インターネットを利用した事前ミーティング等を英語で実施した。（5月10日：今年度のテーマおよび参考資料等をメールで発表、6月5日：各学生による自己紹介、6月19日：各学生によるテーマに基づいたストーリーボード案の発表、6月13日：グループ分けをメールで公表。）その後、7月中旬に2週間にわたり実施された対面式の「企画・制作ステージ」では、日中韓の学生により編成された6グループによって6作品が完成した。

2024年8月には、本学と韓国芸術総合学校の共催による学部生対象のワークショップ「Japan-Korea Joint Workshop in Jeju」が韓国済州島で実施された。日本人学生は、本学から2名、多摩美術大学から2名、武蔵野美術大学から2名参加した。

同年12月には、本学学生8名を中国伝媒大学海南島キャンパスでの2024年度AAEN総会に派遣し、Co-work作品の上映とプレゼンテーション、および自身の修士1年次作品の上映とプレゼンテーションを行った。

短期交換留学は、韓国芸術総合学校と中国伝媒大学と締結している協定を基に、韓国へ1名、中国へ1名の派遣が実現した。

【特に優れた取組】

Co-workは昨年に引き続きハイブリッド形式で実施することができた。一部はオンラインで行う等、コロナ禍で培ったオンライン交流の手法も組み合わせることによって、実渡航の学修成果を高め、質の高いプログラムを実施できている。また、長年のCo-workでの交流の積み重ねが学生の留学に繋がるケースが出てきており、人材と教育のよい循環が生まれている。アカデミックスケジュール等の違いから交流の実現が叶わなかった日本の他大学との連携については、日本と韓国の間で、学部生対象のワークショップ事業を夏休み期間に実施することで可能となった。AAEN総会では、連携校以外の機関の教員・学生との交流が活発に行われており、派遣学生の知見を広げることができた。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

中国伝媒大学で開催した2024年度Co-workには、韓国芸術総合学校と中国伝媒大学から合計40名の学生が参加した。アニメーション制作アシスタントや音楽・音響の制作者として中国伝媒大学の学部生が24名参加し、作品の質向上に貢献した。うち、制作アシスタントの18名は、制作前の「ブレ企画ステージ」からオンラインでの打ち合わせにも参加した。

8月に済州島で行われた学部生向けワークショップ「Japan-Korea Joint Workshop in Jeju」には、韓国芸術総合学校から4名、現地に所在する済州漢拏大学から2名の学部生を受け入れた。

12月のAAEN総会には、中韓の学生14名のほか、連携校のタイ・シラバコン大学から4名の学生を受け入れた。
短期交換留学では、韓国芸術総合学校から1名受け入れた。

【特に優れた取組】

Co-workでは、メインメンバーの修士学生以外に、中国伝媒大学学部生による制作補助や音楽・音響担当24名が参加した。メインメンバーである修士学生のマネージメントおよびコミュニケーション能力の成長が見られた。8月には済州島で学部生向けワークショップ「Japan-Korea Joint Workshop in Jeju」が開催され、開催地である済州島の神話を基にアニメーション作品が制作された。韓国芸術総合学校の他に、地元の済州漢拏大学の学部生も参加し、日韓の学生の協働によりアニメーション作品を作り上げた。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】 (単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】 (単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：東京藝術大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中国伝媒大学	認定者数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0
韓国芸術総合学校	認定者数	0	0	1	1	1
	認定単位数	0	0	10	10	10
シラパコーン大学	認定者数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	1	1	1
年度別認定単位数合計		0	0	10	10	10

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】 (単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	0	0	2	2	2	2	2	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】 (単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：東京藝術大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中国伝媒大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
韓国芸術総合学校	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
シラパコーン大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
中国伝媒大学・韓国芸術総合学校	認定者数	0	7	6	7	
	認定単位数	0	21	18	21	
年度別認定者数合計		0	7	6	7	0
年度別認定単位数合計		0	21	18	21	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	東京科学大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	日中韓新先進科学技術4大学 (T ² KN) 共同教育プログラム		
	【英文】	Joint Education and Research Programs of Top Asian Science and Engineering Universities (T ² KN Consortium)		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった 場合のみ記入	(氏名)	調 麻佐志	(所属・職名) リベラルアーツ研究教育院・教授	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
http://www.ipo.titech.ac.jp/campusasia/ja/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		8	10	18	22	18	28	18	22	18	28	80
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	4	6	8	12	8	18	8	12	8	18	36	66
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)			10	10	10	10	10	10	10	10	40	40

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		8	10	18	22	18	28	18	22	18	28	80
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	4	6	8	12	8	18	8	12	8	18	36	66
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	10	10	10	10	10	10	10	10	40	40

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		5	27	23	15	10	12	10	7	0
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	0	0	15	0	10	12	10	7		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
	B	5	B	27	B	4	B	7	B	0
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	4	8	0	0	0	0		
達成目標に対する実績の割合	63%	270%	128%	68%	56%	43%	56%	32%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	5	27	23	15	10	12	10	7	0	0	48	61		
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	1	4	1	2			2	6	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	10	B	1	B	5	B	0	B	0	1
	ハイブリッド	0	0	0	2	0	0	0	0			0	2	
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	12	0	6	5	6	5			24	10	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	10	B	0	B	2	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	4	0	0	0	0			0	4	
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	3	0	3	3	3	0			9	3	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	7	B	0	B	0	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	4	2	0	0	0	0			4	2	
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	5	B	0	B	3	B	0	B	0	B	0	8
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	3	0	9	0	2	0	0	0	0	0
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	3	0	B	1	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	4	0	0	0	0	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	1	0	0	8	0	3	0	0
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	1	8	0	4	4	4	0	0
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	8	0	0	0	0		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	2	27	8	7	3	0	3	0	0	0
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	2	27	B	3	B	7	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑤上記以外の 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	2	0	1	0	3	0	0	0
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	15	8	10	11	10	7			35	26

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	32	38	0	20		90

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

- ・2023年度に引き続き、全ての連携大学に本学学生を派遣し、清華大学へ1名、KAISTへ6名、南洋理工大学（NTU）へ3名を派遣した。☑
- ・2023年3月に開催したシンガポール超短期派遣に参加した本プログラム学生が、2024年度のNTUセメスター留学に参加した。さらに、同超短期派遣に参加した本プログラム学生1名が、2024年度にNTUセメスター留学に応募し、派遣候補学生として推薦され、2025年度に留学予定となった。超短期派遣に参加した学生に、より長期の留学につながる継続的なサポートを行うことができた。
- ・2024年度KAIST SummerおよびWinterプログラムの派遣学生については、合同の成果発表会を開催し、本学及びKAISTの2大学間のプログラム事業推進責任者による連名署名入りの修了認定書を発行し、プログラム事業推進責任者から修了証書の授与を行う機会を提供することができた。

【特に優れた取組】

- ・2023年度3月に開催したシンガポール超短期派遣に参加した本プログラム学生の経験がNTUセメスター留学につながり、長期留学を行う好事例が増えている。
- ・2023年度に引き続き、本学とKAISTの2大学間の合同発表会を定期的に開催し、連携大学プログラム事業推進責任者の連名の署名による修了証書を提供したことにより、最終年度に開催予定の質の保証の基盤となる合同論文発表会や最終発表会につながるプログラム運営を行うことができた。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

・2024年度は清華大学から2名、KAISTから5名の学生の受け入れを行った。(南洋理工大學 (NTU) からの受入学生はキャンセルとなった)
・2024年度本学Summer SchoolおよびFall Semesterプログラム受入学生については、合同の成果発表会を開催し、本学及びKAISTの2大学間のプログラム事業推進責任者による連名署名入りの修了認定書を発行し、プログラム事業推進責任者からプログラム要件を満たした学生に、直接修了証書の授与を行う機会を提供することができた。
・Summer Schoolでは浅草・日本科学未来館研修旅行やWelcomeランチ・Farewellイベントを通して、プログラム担当教員や留学生・本学学生間との交流を深める機会を提供した。また、Summer Schoolの最終週にハイブリッド形式にて開催した合同発表会は、13名の学生が発表を行い質疑応答を通して双方向な議論が行われた。

【特に優れた取組】

・TCS事務局が2024年度に主催した海外留学プログラムに参加した本プログラム学生が、2025年2月に同窓会イベントを開催し、本学Fall Semesterプログラム受入学生の清華大生・KAIST生および本プログラム派遣学生が参加し、本プログラム留学経験の共有や、三大学間の学生同士の活発な議論による交流が行われた。今後、日中韓三国協力事務局 (Trilateral Cooperation Secretariat: TCS) と連携を行いながら、継続的に修了生同士の交流を行うネットワークの基盤を作ることができた。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：東京科学大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
清華大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	3	3	3	3
KAIST	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	3	3	3	3
南洋理工大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	3	3	3	3
年度別認定者数合計		0	3	3	3	3
年度別認定単位数合計		0	9	9	9	9

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	0	0	0	1	0	3	0	0		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：東京科学大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
清華大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
KAIST	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
南洋理工大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	東京海洋大学		
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。	
事業名	【和文】	持続可能な海洋開発・利用を実現する高度専門職業人養成プログラム－オケアヌスプラス－	
	【英文】	OQEANOUS Plus: Education program fostering advanced professionals who can create technology and its application in the strategic development for sustainable utilization of the ocean	
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	舞田 正志	(所属・職名) 東京海洋大学 理事・副学長(研究・国際・学術情報担当)
	(交替年月日)		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名
		(日本語表記)	(英語表記)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
10			
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用			
https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/oqeanous/			

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

①プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

●申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	6	0	13	40	15	43	16	43	16	43	66	169
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	1	0	8	8	10	11	11	11	11	11	41	41
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	5	0	0	22	0	22	0	22	0	22	5	88
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	10	5	10	5	10	5	10	20	40

●海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

●合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	6	0	13	40	15	43	16	43	16	43	66	169
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	1	0	8	8	10	11	11	11	11	11	41	41
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	5	0	0	22	0	22	0	22	0	22	5	88
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	10	5	10	5	10	5	10	20	40

②プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	22	61	9	63	8	136	19	55	0	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	2	0	5	4	3	11	6	11		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	0	A	0	A	21	A	0	A	0
	B	20	B	61	B	31	B	108	B	5
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	4	7	5	17	8	23		
達成目標に対する実績の割合	367%	#DIV/0!	69%	158%	53%	316%	119%	128%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	22	61	9	63	8	136	19	55	0	0	58	315			
交流相手国 中国	実渡航	0	0	1	1	0	3	2	2			3	6		
	オンライン	A	0	A	0	A	5	A	0	A	0	A	0	0	5
		B	0	B	0	B	0	B	36	B	0	B	0	0	36
ハイブリッド	0	0	0	0	0	5	8	4			8	9			
交流相手国 韓国	実渡航	2	0	1	3	2	3	1	4			6	10		
	オンライン	A	0	A	0	A	2	A	0	A	0	A	0	0	2
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	3	5	6	0	5			5	14			
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	3	0	1	5	3	5			7	10		
	オンライン	A	0	A	0	A	14	A	0	A	0	A	0	0	14
		B	0	B	0	B	0	B	19	B	0	B	0	0	19
ハイブリッド	0	0	4	4	0	6	0	14			4	24			
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	20	B	61	B	31	B	53	B	5	B	21	25	166
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	4	10	5	47	8	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 7 B 0	A 0 B 0	A 0 B 36	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	4	3	5	11	8	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	2	0	5	4	3	11	6	11		
実渡航	2	0	5	4	3	11	6	11		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	20	61	0	49	0	78	5	21	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 20	A 0 B 61	A 0 B 0	A 14 B 31	A 0 B 0	A 0 B 72	A 0 B 5	A 0 B 21	A	A
ハイブリッド	0	0	0	4	0	6	0	0		
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A	A
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	2	0	5	4	3	11	6	11			16	26

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について(実績) ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	3	20	36	25		84

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

単位互換を伴う1セメスターの相互派遣プログラムである国際協働教育プログラム（IJP）において、韓国海洋大学校（KMOU）へ1名、上海海洋大学（SHOU）へ2名、カセサート大学（KU）へ2名、マラヤ大学（UM）へ1名派遣した。ダブルディグリー取得を目的とする共同学位プログラム（DDP）については今年度派遣希望者はいなかった。（実渡航：6名） オンライン講義と実渡航のハイブリッド形式によるショートタームプログラム（STP）において、本学学生8名がハイブリッドで参加し、韓国および日本でフィールドトリップを行った。（ハイブリッド：8名）

オンライン学生交流会（OEP）が本学主催で開催され、本学から5名の学生が参加した。（オンラインB：5名）

なお、OEPについてはこれまで本学からの参加者を派遣数に含めていなかったが、当初の計画とは異なり主催を日中韓で交替して担っており、また、本学含め全コンソーシアム大学から区別なく学生が参加する形式のため、今年度より本学からの参加者も派遣者の実績として算入することとした。

【特に優れた取組】

今年度はプログラム開始以降、IJP及びDDPの派遣数の合計である実渡航の数が最も多くなった。

また、STPについて2024年度は中国と共催で開催したが、2023年度に引き続き7大学の学生が中国に一同に会し、フィールドトリップを行うことができた。ASEAN地域からの参加学生数も増え、参加した日本人学生はより多国籍の環境で学ぶことができた。

OEPについては、今年度より過去のアンケート等を参考にプログラムを見直し、参加者を少人数制とし、参加者全員がより能動的に参画できる内容へと改善した。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

単位互換を伴う1セメスターの相互派遣プログラムである国際協働教育プログラム（IJP）において、韓国海洋大学校（KMOU）から4名、上海海洋大学（SHOU）から2名、カセサート大学（KU）から2名、ボゴール農科大学（IPB）から2名の受け入れを行った。また、ダブルディグリー取得を目的とする共同学位プログラム（DDP）において、KUから1名の受け入れを行った。（実渡航：11名） オンライン講義と実渡航のハイブリッド形式によるショートタームプログラム（STP）において、KMOUから5名、SHOUから4名、KUから5名、チュラロンコン大学(CU)から1名、マラヤ大学（UM）から8名がハイブリッド形式で参加し、中国においてフィールドトリップを行った。（ハイブリッド：23名）

オンライン学生交流会（OEP）が本学主催で開催され、KMOU、SHOU、CU、KU、UM、ボゴール農科大学（IPB）から計21名が参加した。（オンラインB：21名）

【特に優れた取組】

2023年5月にカセサート大学（KU）とのダブルディグリー協定の締結を行った。その準備段階よりKUとの交流が増えたため、まずは2023年4月にIJP学生が2名、また、協定の締結後の10月にはIJP学生2名及びDDP学生1名を受け入れることとなった。

また、STPについて、2024年度は中国と共催で開催したが、2023年度に引き続き7大学の学生が中国に一同に会し、フィールドトリップを行うことができた。

OEPについては、上述の通り今年度よりプログラムを改善し、参加者を少人数制としたため、コンソーシアム校からの受け入れ人数は減ったものの、参加学生にはより活発な交流体験の場を提供することができた。

(4) 【交流相手国別の交流学生数 内訳】 (実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		2	0	9	11	8	28	39	55	0	0	58	94
中国	実渡航	0	0	1	3	0	3	2	2			3	8
	オンライン	0	0	0	0	0	0	5	4			5	4
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	5	8	4			8	9
韓国	実渡航	2	0	1	1	2	3	1	4			6	8
	オンライン	0	0	0	0	0	0	5	4			5	4
	ハイブリッド	0	0	0	3	5	6	0	5			5	14
タイ	実渡航	0	0	2	0	0	5	2	3			4	8
	オンライン	0	0	0	0	0	0	5	7			5	7
	ハイブリッド	0	0	4	3	0	3	0	6			4	12
インドネシア	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	2			0	2
	オンライン	0	0	0	0	0	0	5	3			5	3
	ハイブリッド	0	0	0	1	0	0	0	0			0	1
マレーシア	実渡航	0	0	1	0	1	0	1	0			3	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	5	3			5	3
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	3	0	8			0	11

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	1	0	4	4	6	6	6	6	6	6

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：東京海洋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上海海洋大学	認定者数	0	2	2	2	2
	認定単位数	0	20	20	20	20
韓国海洋大学校	認定者数	1	2	2	2	2
	認定単位数	10	20	20	20	20
チュラロンコン大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	10	10	10	10
カセサート大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	10	10	10	10
マラヤ大学	認定者数	0	0	1	1	1
	認定単位数	0	0	10	10	10
ボゴール農科大学	認定者数	0	0	1	1	1
	認定単位数	0	0	10	10	10
年度別認定者数合計		1	6	8	8	8
年度別認定単位数合計		10	60	80	80	80

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	1	1	4	2	3	3	4	4		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：東京海洋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上海海洋大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
韓国海洋大学校	認定者数	2	1	2	0	
	認定単位数	18	6	12	0	
チュラロンコン大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
カセサート大学	認定者数	0	2	0	0	
	認定単位数	0	18	0	0	
マラヤ大学	認定者数	0	0	1	0	
	認定単位数	0	0	3	0	
ボゴール農科大学	認定者数	0	1	0	0	
	認定単位数	0	6	0	0	
年度別認定者数合計		2	4	3	0	0
年度別認定単位数合計		18	30	15	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	名古屋大学		
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。	
事業名	【和文】	東アジア共通法の深化と世界への発信にむけた法的・政策的プラットフォームを支える人材育成	
	【英文】	Human resource development to support legal and policy platforms for deepening "jus commune" in East Asia and disseminating it to ASEAN and the World	
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	中東 正文	(所属・職名) 大学院法学研究科・研究科長
	(交替年月日)	令和6年4月1日	
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名
		(日本語表記)	(英語表記)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
10			
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用			
https://www.law.nagoya-u.ac.jp/~campusasia/			

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について												
①プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)												
●申請時の計画調書記載人数												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	30	26	30	26	30	26	30	26	30	26	150	130
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	10	0	10	0	10	0	10	0	40	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	29	18	10	13	10	13	10	13	10	13	69	70
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	1	8	10	13	10	13	10	13	10	13	41	60
●海外相手大学追加調書分												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0
●合計人数												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	30	26	30	26	30	26	30	26	30	26	150	130
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	10	0	10	0	10	0	10	0	40	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	29	18	10	13	10	13	10	13	10	13	69	70
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	1	8	10	13	10	13	10	13	10	13	41	60
②プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	5	8	41	13	39	25	25	22	0	0		
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	0	0	16	9	14	16	7	22				
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	0	A	8	A	11	A	0	A	0	A	0
	B	4	B	0	B	14	B	0	B	11	B	0
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	1	0	0	4	14	9	7	0				
達成目標に対する実績の割合	17%	31%	137%	50%	130%	96%	83%	85%	0%	0%		
A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの											
B	もともとオンライン実施で準備していたもの											

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	5	8	41	13	39	25	25	22	0	0	110	68			
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	7	6	3	1			10	7		
	オンライン	A	0	A	0	A	11	A	0	A	0	A	0	11	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	3	0	0	0	0			0	3			
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	16	7	7	7	3	18			26	32		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	4	B	0	B	14	B	0	B	11	B	9	B	11
ハイブリッド	1	0	0	1	0	0	0	0			1	1			
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	2	0	3	1	3			1	8		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	8	A	0	A	0	A	0	A	0	0	8
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	14	0	7	0			21	0			
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	1	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	1	8	8	8	13	16	7	12	0	0
実渡航	1	0	7	4	13	16	7	12		
オンライン	A 0 B 0	A 8 B 0	A 1 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	4	0	0	0	0		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	4	0	32	5	26	9	18	10	0	0
実渡航	0	0	8	5	1	0	0	0		
オンライン	A 4 B 0	A 0 B 0	A 10 B 14	A 0 B 0	A 0 B 11	A 0 B 9	A 0 B 11	A 0 B 10	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	14	0	7	0		
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	1	0	16	8	27	16	14	12			58	36

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた 同窓会ネットワークへの参加者数に ついて	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	合計
	66	54	64	47		231

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

コロナに関連した制限が撤廃されたことにより、派遣者数が一時期増加したが、物価高の影響で学生数が伸び悩んでいる。しかし、オンラインによる短期の語学のプログラムは人気があり、インターンシップを含め、多様な参加可能性を提供することにより、本プログラムに興味を持つ学生は増加している。2023年度に引き続き、2024年度の短期研修も、同じ学生が二カ国を体験することができた。

【特に優れた取組】

短期研修の出発までの秋学期中に全員が「東アジア法政治入門」を受講し、オンラインと対面のハイブリッドで授業を実施した。国内外の専門家や卒業生、当プログラムで留学をしていた大学院生による授業も実施し、参加学生に刺激を与えた。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

派遣と同じく、コロナによる制限がなくなったことにより、特に長期受入数（③単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流学生数）が増加している。中国に関しては学部生の派遣生に対する中国政府奨学金の問題があり、ここ数年は受入生が少ない状態である。日韓学生交流会では、これまでで一番多い10名の学生が来日し、これから派遣する学生や帰国した学生と意見交換をすることができた。

【特に優れた取組】

学生交流会、国内研修、各国の大学紹介イベント等を開き、学生が交流できる場が無くならないよう、できる範囲で様々なイベントを実施した。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：名古屋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		中国人民大學	認定者数	0	5	5
	認定単位数	0	100	100	100	100
成均館大學	認定者数	1	5	5	5	5
	認定単位数	20	100	100	100	100
シンガポール国立大學	認定者数	0	3	3	3	3
	認定単位数	0	60	60	60	60
年度別認定者数合計		1	13	13	13	13
年度別認定単位数合計		20	260	260	260	260

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			認定者数			
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	1	2	2	3	2	3	3	3		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：名古屋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		中国人民大學	認定者数	0	1	2
	認定単位数	0	0	32	140	
成均館大學	認定者数	1	5	6	3	
	認定単位数	15	68	156	64	
シンガポール国立大學	認定者数	0	0	0	1	
	認定単位数	0	0	0	15	
年度別認定者数合計		1	6	8	13	0
年度別認定単位数合計		15	68	188	219	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			認定者数			
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (〇が代表大学)	大阪大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	グローバル社会における健康問題解決を担う医学・公衆衛生学研究リーダーの育成		
	【英文】	Nurturing of medical and public health research leaders to solve health problems in global societies		
事業責任者 <small>※交替年月日は変更があった場合のみ記入</small>	(氏名)	川崎 良	(所属・職名) 大学院医学系研究科・教授	
	(交替年月日)	令和5年6月1日		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 <small>※追加調査を提出した大学のみ記入</small>	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			

大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL
※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用

・大阪大学 世界的健康問題の解決に向けた医学研究グローバルリーダー育成プログラムホームページ：
<http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/campusasia/>

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

①プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

●申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		72	92	83	103	84	105	86	108	88	108	413
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	9	9	16	16	17	18	19	21	21	21	82	85
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	60	80	60	80	60	80	60	80	60	80	300	400
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	3	3	7	7	7	7	7	7	7	7	31	31

●海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

●合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		72	92	83	103	84	105	86	108	88	108	413
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	9	9	16	16	17	18	19	21	21	21	82	85
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	60	80	60	80	60	80	60	80	60	80	300	400
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	3	3	7	7	7	7	7	7	7	7	31	31

②プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		46	58	105	158	16	133	6	23	0
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	2	1	5	19	9	29	6	23		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A 0	A 0	A 0	A 0	A 0	A 0	A 0	A 0	A	A
	B 44	B 56	B 100	B 137	B 7	B 104	B 0	B 0	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	1	0	2	0	0	0	0		
達成目標に対する実績の割合	64%	63%	127%	153%	19%	127%	7%	21%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	40	45	105	158	16	133	2	5	0	0	163	341		
交流相手国 中国	実渡航	0	1	0	1	1	4	0	3			1	9	
	オンライン	A	0	A	1	A	0	A	0	A	0	A	0	1
		B	0	B	41	B	0	B	112	B	0	B	0	153
ハイブリッド	0	0	0	2	0	0	0	0			0	2		
交流相手国 韓国	実渡航	2	1	2	16	3	15	2	1			9	33	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	1	B	0	B	4	B	0	B	9	14
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	1			0	1	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	3	2	5	1	0	0			8	3	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	38	B	0	B	100	B	21	B	7	B	104	145
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
【交流形態別 内訳】												
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	3	0	3	15	0	15	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A
		B	2	0	0	0	0	0	0	0	B	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A
		B	0	1	0	0	0	0	0	0	B	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	1	2	2	3	2	1	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	1	0	0	0	0	0	0	A	A
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
	ハイブリッド	0	0	0	2	0	0	0	0			
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	42	55	100	138	14	116	4	19	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A
		B	42	55	100	137	7	104	0	0	B	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	1	3	18	4	17	0	1			7	37

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた 同窓会ネットワークへの参加者数に ついて	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	合計
	169	29	149	29		376

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

2024年度には、ダブルディグリー学生として、引き続き日本人学生1名が継続、新たに1名を延世大学に派遣した。また大阪大学微生物病研究所と保健学専攻からマヒドン【特に優れた取組】

派遣学生には、情報の提供やインターネット等を通じた相談を必要に応じて行っている。現地大学の担当者と共に連携を取り、学士給の危機管理、履修相談、生活・言語のサポート等を個別に実施している。毎年一校が主催となり開催される国際シンポジウムでは、各校が現地に学生を派遣し学生によるプレゼンテーションに対して参加校の教員による学生指導・評価を行う等、日中韓タイのコンソーシアムによる、医学研究のグローバルリーダー育成に向けた組織的な取組を行った。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

2024年度には、受入留学生としてダブルディグリー学生が2名在籍し、医学分野で難しいとされるダブルディグリー取得に取り組み、着実に教育実績を上げている。また、

【特に優れた取組】

2025年度内のダブルディグリー取得に向けて3名の学生が現在学位審査に挑んでいる。2021年のコロナ禍下に協定を終結したマヒドン大学、広東薬科大学との交流が順調に進んでいる。協定終結直後は感染症対策の余波を受け、実渡航の実現が厳しい状況が続いたが、2024年度にはマヒドン大学から19名の短期受入が実現した。例年1月～2月にかけて10人前後受け入れている延世大学の医学部生に関しては現地の医療ストライキの影響で実現は叶わなかったが、状況が改善に向かっており現在2026年1月の受入実現に向けて着実に動いている。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	1	2	3	2	1	2	1	1	2	2

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：大阪大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京大学	認定者数	1	1	0	1	0
	認定単位数	10	10	0	10	0
清華大学	認定者数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0
上海交通大学	認定者数	0	1	0	0	0
	認定単位数	0	10	0	0	0
天津中医薬大学	認定者数	0	0	0	0	1
	認定単位数	0	0	0	0	10
広東薬科大学	認定者数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0
延世大学校	認定者数	0	1	1	0	1
	認定単位数	0	10	10	0	10
マヒドン大学	認定者数	0	0	0	0	0
	認定単位数	0	0	0	0	0
年度別認定者数合計		1	3	1	1	2
年度別認定単位数合計		10	30	10	10	20

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	0	2	1	1	2	0	0	0		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：大阪大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
延世大学校	認定者数	0	1	2	0	
	認定単位数	0	10	29	0	
	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
年度別認定者数合計		0	1	2	0	0
年度別認定単位数合計		0	10	29	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	神戸大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	異分野共創によるリスク・マネジメント専門家養成共同教育プログラム		
	【英文】	Multidisciplinary Education Program for Careers on Risk Management Experts		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった 場合のみ記入	(氏名)	玉置久	(所属・職名) 理事・副学長	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://www.edu.kobe-u.ac.jp/gsics-campusasia/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		16	12	25	22	27	22	26	22	27	22	121
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	6	2	8	9	9	8	8	9	9	8	40	36
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	50	50
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	7	3	8	4	8	3	8	4	31	14

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		16	12	25	22	27	22	26	22	27	22	121
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	6	2	8	9	9	8	8	9	9	8	40	36
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	50	50
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	7	3	8	4	8	3	8	4	31	14

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
		13	27	36	43	62	47	39	91	0	0	
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	5	1	17	6	18	8	12	10				
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	4	A	0	A	0	A	0	A	0	A	
	B	4	B	26	B	14	B	33	B	24	B	22
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	4	20	17	7	13				
達成目標に対する実績の割合	81%	225%	144%	195%	230%	214%	150%	414%	0%	0%		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計						
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入					
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数		13	27	36	43	62	47	39	91	0	0	150	208					
交流相手国 中国	実渡航	0	0	2	0	2	0	1	0			5	0					
	オンライン	A	2	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	2	0			
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0			
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
交流相手国 韓国	実渡航	5	1	10	3	9	3	1	4			25	11					
	オンライン	A	2	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	2	0			
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0			
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	3	3	5	5	10	6			18	14					
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0			
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0			
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0			
		B	4	B	26	B	14	B	33	B	24	B	22	B	20	B	68	62
	ハイブリッド	0	0	5	4	0	0	0	0			5	4					
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	1	0	0	0			1	0					
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0			
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0			
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	2	0	1	0	0	0			3	0					
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0			
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0			
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0					
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0			
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0			
	ハイブリッド	0	0	0	0	20	17	7	13			27	30					
自己負担又は大学負担等による交流学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	実渡航											0	0					
	オンライン	A		A		A		A		A		A		0	0			
		B		B		B		B		B		B		0	0			
	ハイブリッド											0	0					

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
【交流形態別 内訳】													
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	4	0	26	17	14	13	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	20	17	7	13				
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	1	2	0	3	3	3	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	13	27	26	40	29	27	22	75	0	0		
	オンライン	A	4	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	4	B	26	B	14	B	33	B	24	B	22
	ハイブリッド	0	0	5	4	0	0	0	0				
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	4	0	7	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	2	1	6	6	9	8	10	10			27	25

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	6	7	10	7		30

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

2021年度はコロナ禍による渡航制限の影響により、当初の計画通りの学生派遣は困難であった。2022年度にはラオスおよび韓国への短期研修を実施し、各国の渡航制限の緩和も相まって参加学生数が増加した。2023年度には新たにタイへの短期研修も開始され、プログラムの多様化が進んだ。この結果、韓国・中国・ラオス・タイの4カ国に計18名を派遣した。実地での多国間交流も活性化しており、中国の協定校が実施した研究コンペには、2021年度のオンライン留学経験者3名が現地で参加したほか、ラオス短期研修には中国・韓国の協定校から計5名が合流し、学生間の交流が実現した。2024年度は、修業年限や就職活動の影響により、中国・韓国への中長期派遣は計2名にとどまったが、ASEAN協定校での短期研修には引き続き高い関心が寄せられ、ラオスおよびタイに計10名を派遣した。ラオス短期研修には中国・韓国の協定校から計3名が参加し、多国間交流が継続している。また、中国の協定校による研究コンペには同年度も3名が参加し、継続的な交流が図られている。一方、韓国短期研修は参加希望者が多数いたものの、協定校側の都合により2024年度は実施が見送られた。

【特に優れた取組】

本学は、中国・韓国・ASEANの協定校と連携し、「異分野共創によるリスク・マネジメント専門家養成」をテーマに共同教育を推進している。2023年度には、これまで日中韓で実施してきたオンライン共同科目「リスク・マネジメントI」にASEANの協定校の教員が加わり、異分野共創の観点からリスク分析を教育する環境が整備された。一方、現地実践型の科目「リスク・マネジメントII」では、神戸地域の防災関連施設を訪問するフィールドトリップを複数回実施し、リスク・マネジメントの現場理解を深めた。学生らはこうした留学から得られた経験・知識を年次国際シンポジウムで報告し、協定校の教員による共同指導を通じて専門性を高めた。さらに、実務に即した人材育成の一環として、国際機関や途上国行政機関の専門家を招いたセミナーをハイブリッド形式で複数回開催し、国際課題に関する実践的な学びと議論の機会を提供した。こうした取り組みはキャリアのネットワークの機会にもつながり、プログラム修了生の中には、世界銀行本部、UNESCO本部、UNICEF本部、アジア開発銀行本部など、国際機関でのインターンシップを実現した。また、韓国から日本に留学したプログラム参加者が日本で進学し、防災分野で博士号を取って中国の大学に就職したほか、韓国に留学した日本人博士課程後期課程参加者が、防災関連分野の研究職につくなど、地域におけるリスクマネジメント専門家養成の成果を着実に創出している。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

コロナ禍による渡航制限の影響を受けていた2021年度は、当初の計画どおりの受入は困難であり、韓国から1名がオンライン参加を経て実渡航したにとどまった。しかし、2022年度には渡航規制の緩和により受入が再開され、韓国・ラオス・タイから計6名の学生を受け入れた。2023年度には、ASEAN協定校における本プログラムへの関心が高まり、受入学生数は計8名に拡大した。さらに、過年度修了生が派遣元の大学で積極的に留学経験を共有したこともあり、プログラムに対する認知が向上した結果、2024年度には韓国・ラオス・タイから計10名の学生を本学博士前期課程に受け入れた。特に、ラオスの学生のニーズが高く、本学でのダブルディグリーでの受入を検討し

【特に優れた取組】

ASEAN協定校からの受入においては、派遣プログラム修了生を中心にチューターを配置し、学修・生活面両面にわたるサポート体制が構築している。また、受入学生のチューターを担当した学生が、次年度の派遣プログラムへの応募を検討するなど、相乗効果が継続的に生まれている。

協定校の学生にとって、本学でのプログラム参加の魅力は多岐にわたる。派遣元大学にはない分野の開講科目を履修できることや、ゼミでの発表等を通じたインタラクティブな研究指導、(ダブルディグリーの場合)学位取得、キャリア開発の機会となる世界銀行本部やラオス教育スポーツ省等でのインターンシップ、国際機関の専門家を招いたリスクマネジメントセミナー、キャリアセミナーへの参加など、研究からキャリアへとつなげる一貫した教育体制が提供されている。

なお、参加者の中には、帰国後に派遣元で講師に就任した事例や、本学の博士課程に進学して再来日する事例もみられる。こうした実績は、共同教育プログラムの継続実施により異分野共創型人材の輩出および本学の国際拠点化につながっていることを示している。

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	2	2	2	3	3	2	2	3	3	2

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名： 神戸大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
復旦大学	認定者数	5	5	5	5	5
	認定単位数	48	48	48	48	48
高麗大学校	認定者数	5	5	5	5	5
	認定単位数	48	48	48	48	48
ラオス国立大学	認定者数	0	0	1	0	1
	認定単位数	0	0	12	0	12
年度別認定者数合計		10	10	11	10	11
年度別認定単位数合計		96	96	108	96	108

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	2	1	3	2	3	2	3	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名： 神戸大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
復旦大学	認定者数	2	2	3	1	
	認定単位数	18	10	30	7	
高麗大学校	認定者数	5	6	2	2	
	認定単位数	50	58	20	20	
ラオス国立大学	認定者数	0	3	5	5	
	認定単位数	0	6	10	10	
年度別認定者数合計		7	11	10	8	0
年度別認定単位数合計		68	74	60	37	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	九州大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム－プログラムのパッケージ化とASEANへの展開－		
	【英文】	Cooperational Graduate Education Program for the Development of Global Human Resources in Energy and Environmental Science and Technology –Expansion to ASEAN-		
事業責任者 <small>※交替年月日は変更があった場合のみ記入</small>	(氏名)	宮崎隆彦	(所属・職名) 大学院総合理工学府・教授	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 <small>※追加調査を提出した大学のみ記入</small>	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL <small>※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用</small>				
https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/campus-asia/				

2. 交流学生数の実績等【(1)で6ページ以内、(2)(3)で1ページ】

(1) 交流する学生数について												
①プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)												
●申請時の計画調書記載人数												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	50	28	85	12	63	88	65	75	77	60	340	263
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	50	8	69	12	44	88	43	70	75	13	281	191
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	20	16	0	19	0	20	0	0	42	55	62
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	2	5	2	5	4	10
●海外相手大学追加調書分												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0
●合計人数												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	50	28	85	12	63	88	65	75	77	60	340	263
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	50	8	69	12	44	88	43	70	75	13	281	191
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	20	16	0	19	0	20	0	0	42	55	62
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	2	5	2	5	4	10
②プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)												
各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(Ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	31	55	59	3	50	69	26	82	0	0		
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	0	0	22	2	31	64	15	63				
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A 25	A 27	A 28	A 1	A 1	A 0	A	A	A	A	A	A
	B 0	B 25	B 9	B 0	B 17	B 5	B 11	B 19	B	B	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	6	3	0	0	1	0						
達成目標に対する実績の割合	62%	196%	69%	25%	79%	78%	40%	109%	0%	0%		
A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの											
B	もともとオンライン実施で準備していたもの											

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	31	55	59	3	22	6	22	81	0	0	134	145			
交流相手国 中国	実渡航			1	18	1		27			18	29			
	オンライン	A	1	A	14	A	19	A	1	A		A		20	15
		B		B	12	B		B		B	11	B	12	B	
ハイブリッド		2				1								1	2
交流相手国 韓国	実渡航			21	1	3	5	9	22				33	28	
	オンライン	A	24	A	13	A	9	A		A		A		33	13
		B		B	3	B		B		B		B	7	B	
ハイブリッド	6	1											6	1	
交流相手国 ASEAN	実渡航			1			0	2	13				3	13	
	オンライン	A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B	10	B	9	B		B		B		9	10
ハイブリッド													0	0	
交流相手国 中国及び韓国	実渡航												0	0	
	オンライン	A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド													0	0	
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航												0	0	
	オンライン	A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド													0	0	
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航												0	0	
	オンライン	A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド													0	0	
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航												0	0	
	オンライン	A		A		A		A		A		A		0	0
		B		B		B		B		B		B		0	0
ハイブリッド													0	0	
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	28	63	4	1	0	0	32	64		
	オンライン	A		A		A	1	A		A		A		1	0
		B		B		B	17	B	5	B		B		17	5
	ハイブリッド												0	0	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	20	27	0	27	0	0	53	0	0
実渡航	0		18		26			53		
オンライン	A	20	A	9	A	1	A		A	A
B		B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
実渡航	0		0		1					
オンライン	A		A		A		A		A	A
B		B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	8	10	7	3	5	6	7	9	0	0
実渡航			3	2	5	6	7	9		
オンライン	A	2	A	7	A	4	A	1	A	A
B		B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド	6	3								
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	23	25	24	0	17	58	19	20	0	0
実渡航	0					58	8	1		
オンライン	A	23	A	15	A		A		A	A
B		B	25	B	9	B	17	B	11	B
ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A		A		A		A		A	A
B		B	B	B	B	5	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
実渡航			1							
オンライン	A		A		A		A		A	A
B		B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	6	3	4	2	6	6	7	9			23	20

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた 同窓会ネットワークへの参加者数に ついて	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	合計
	6	50	52	87		195

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

コロナ禍の影響が色濃く残っていたプログラム第3モード前半は、オンライン環境を積極的に活用したハイブリッドでの参加を実施しつつ、実渡航派遣の正常化に備えてきた。

2022年度にはようやく正常化の兆しが見えたものの、やはり派遣にはビザ取得等の困難は伴ったままで思うように進めることは難しくオンラインの活用が続いていたが、釜山大学への実渡航留学においては隔離措置等が次々と撤廃されはじめ、学生を比較的小スムーズに派遣できるようになった。

2023年度に入り、短期派遣においては依然難しい状況だったが、DD留学ではコロナ前と同様のペースで派遣手続きを進める事が可能となったため、特に3年ぶりの実渡航留学が再開した上海交通大学へのDD派遣は、いわばアフターコロナ1期生といった様相を呈し意欲を持った学生が参加・派遣された。

このようにこの3年間に限っては、実渡航が可能になってからもさまざまな条件下のもとでの派遣であったため、オンラインで終始してしまうかもしれないという状況に魅力を感じず参加を躊躇する学生が多く見られた。

2024年度のDD留学派遣希望先では前年度、前々年度の実績を鑑みた学生の消極姿勢が見られ上海交通大学が苦戦した一方で、釜山大学への希望者数は安定、そしてマレーシア工科大学へのDD派遣1期生となる枠へは予定以上の応募があったが、調整を計り派遣することができた。

また釜山大学で開催されたCSS-EESTへは博士課程も含め8名を派遣したものの、結局2024年度も中国への派遣については本調子に戻らないままであったため、翌年度派遣のリクルート計画を練った。

【特に優れた取組】

オンライン環境を整え、ハイブリッドでのアクティビティに大いに活用した。特に重要なアクティビティの1つであるサマースクールではオンライン受講を可能にし、また、各大学が国際的文化交流を絶やさぬようそれぞれ積極的に工夫を重ねた。このような取り組みの結果、実渡航派遣がままならないながらも全てのアクティビティを催行し参加した学生には全て単位取得をさせることができた。

2024年度はマレーシア工科大学とのDD協定締結後の初の留学正規生の派遣を果たし、これまでの経験を活かした順調な滑り出しの年となった。

派遣希望者は予定していた1名の枠に2名の応募があったため、派遣先との調整を計り、2名とも派遣することができた。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

受け入れについては派遣のパターンよりさらに困難な状況が続いていたが、同様にオンラインのみ、もしくはハイブリッド参加ができる体制下で継続してきた。

2022年には上海交通大学から1名、釜山大学から3名、2023年には上海交通大学から2名が完全オンラインでダブルディグリーを取得した。

翌2023年になると、実渡航でのDD取得が見込めるようになったため留学生の入学希望者が復調した。

2024年度、マレーシア工科大学からDD協定締結後初となる2名を受け入れた。受け入れについても定員1名枠であったが希望者多数であったため、派遣数とのバランスをとり2名を受け入れることになった。また上海交通大学からは6名、釜山大学からは1名を受け入れた。

【特に優れた取組】

コロナ禍における国からの柔軟な措置の下、教職員によるさまざまな工夫や各国大学ルール内での交渉とアレンジを経てDD生輩出を絶やさなかったことは大きな成果であった。

また全体的な参加者数では見えないが、かねてより計画をしているサマースクールのオープン化などにおいてはオンライン環境ならではの参加希望学生を得ることができたため、今後に活かせる良い参考事例となった。

2024年度末、キャンパスアジアのアラムナイネットワーク活動において初のイベントとなる"Reunion Symposium"をハイブリッド開催し、歴代の多くの留学生49名にも参加してもらうことができた。

3カ国のCAアラムナイのキャリア情報のアップデートも含め、このようなアクティビティを開催することはネットワーク構築の基盤を固めるためにも有益であった。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：九州大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上海交通大学	認定者数	1	5	5	5	5
	認定単位数	10	50	50	50	50
釜山大学校	認定者数	6	5	5	5	5
	認定単位数	60	50	50	50	50
マレーシア工科大学	認定者数	0	0	1	1	1
	認定単位数	0	0	10	10	10
年度別認定者数合計		7	10	11	11	11
年度別認定単位数合計		70	100	110	110	110

2. 国内連携大学 【大学名：大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	2	2	2	2	2	2	2	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：九州大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上海交通大学	認定者数	1	0	2	3	
	認定単位数	10	0	14	18	
釜山大学校	認定者数	7	5	3	7	
	認定単位数	63	30	18	37	
マレーシア工科大学	認定者数	0	0	0	2	
	認定単位数	0	0		20	
年度別認定者数合計		8	5	5	12	0
年度別認定単位数合計		73	30	32	75	0

2. 国内連携大学 【大学名：大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	九州大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	アジアのゼロエミッション持続循環型環境都市を牽引する人材育成・協働教育プログラム		
	【英文】	Cooperative Educational Program for Fostering Human Resources to Lead Sustainable Development of Recycle-Based Zero-Emission Urban and Architectural Environment in Asia		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	尾崎 明仁	(所属・職名) 大学院人間環境学研究院・教授	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	7	27	28	27	28	34	30	34	30	132
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	22	18	22	18	29	18	29	18	102	72
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	10	7	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	10	5	10	5	12	5	12	20	44

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	7	27	28	27	28	34	30	34	30	132
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	22	18	22	18	29	18	29	18	102	72
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	10	7	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	10	5	10	5	12	5	12	20	44

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	20	31	20	11	14	17	38	0
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)			3	9	1	13	11	36		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	10	A	28	A		A		A	
	B		B		B		B	2	B	
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)					10	1	6			
達成目標に対する実績の割合	100%	286%	115%	71%	41%	50%	50%	127%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

③：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(計画)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数		10	7	27	28	27	28	34	30	34	30	132	123
交流相手国 中国	実渡航			10	6	5	6	5	6	10	6	30	24
	オンライン		5									0	5
	ハイブリッド			2	4	2	4	3	5	3	5	10	18
交流相手国 韓国	実渡航			12	6	12	6	17	6	12	6	53	24
	オンライン	10	2									10	2
	ハイブリッド			2	4	2	4	3	5	3	5	10	18
交流相手国 ASEAN	実渡航				6	5	6	5	6	5	6	15	24
	オンライン											0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 中国及び韓国	実渡航											0	0
	オンライン											0	0
	ハイブリッド			1	2	1	2	1	2	1	2	4	8
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン											0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン											0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン											0	0
	ハイブリッド											0	0
自己負担又は大学負担等による交流学生数		0	0	0	11	0	11	0	11	17	11	17	44
	実渡航				8		8		8	10	8	10	32
	オンライン											0	0
	ハイブリッド				3		3		3	7	3	7	12

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	10	20	31	20	11	14	17	38	0	0	69	92
交流相手国 中国	実渡航				1		6	13			7	13
	オンライン	A	8	28	8						28	16
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0
交流相手国 韓国	実渡航		3	9		13	5	21			8	43
	オンライン	A	10	12		3					10	15
		B							2		0	2
	ハイブリッド					10	1	6			16	1
交流相手国 ASEAN	実渡航							2			0	2
	オンライン	A									0	0
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0
交流相手国 中国及び韓国	実渡航										0	0
	オンライン	A									0	0
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航										0	0
	オンライン	A									0	0
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航										0	0
	オンライン	A									0	0
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航										0	0
	オンライン	A									0	0
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A									0	0
		B									0	0
	ハイブリッド										0	0

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	10	0	28	18	4	0	5	2	0	0
	オンライン	A 10	A	A 28	A 10	A	A	A	A	A	A
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	ハイブリッド					4		5			
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	6	0	2	1	7	2	7	0	0
	オンライン	A	A 6	A	A 1	A	A 6	A 1	A 5	A	A
		B	B	B	B	B	B	B 2	B	B	B
	ハイブリッド						1	1			
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	14	3	0	6	7	10	29	0	0
	オンライン	A	A 14	A	A	A	A	A	A	A	A
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	ハイブリッド					6					
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	ハイブリッド										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	1	0	7	0	22			0	30

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	21	23	24	52		120

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

2024年度のサマースクールは、釜山大学校の主催でオーストリアのRamsau am Dachsteinで行われた。7月22日～7月31日までオンラインレクチャーが行われ、その後9月7日～9月18日までRamsau am Dachsteinで現地ワークショップ及びEducational Tripが行われた。九州大学からは5名の学生が参加し、九州大学で2チームに分かれて成果の発表を行った。

2024年6月3日～6月9日に同済大学で行われたコンストラクションフェスティバルには九州大学から5名が参加し、構造デザインと制作を行った。また、12月13日～12月17日に韓国で行われたPNUウィンタープログラムへは、九州大学から5名が参加し、プレゼンテーションを行った。本プログラムの目指す「グローバルな人材育成」のため、専門教育と同時に国際的な場で活躍するためのコミュニケーション能力や主体性の向上を図ることが出来た。

【特に優れた取組】

同済大学へのダブルディグリープログラム生1名が引き続き同済大学に滞在した。また、2024年4月から新たに設立された国際連携専攻では、1名の初めてのジョイントディグリープログラム生を釜山大学に派遣した。帰国後もオンラインでの指導が続いている。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

2024年6月にダブルディグリー修士論文発表会（オンライン）を行い、釜山大学の1名の学生が論文発表と査定を経て、修了認定された。また、2024年4月から釜山大学より3名の特別聴講生を受入、10月からはさらに釜山大学より1名のダブルディグリープログラム生と同済大学より1名の特別聴講生を受入れ、プログラムを開始した。2024年8月に本校で開催されたサマースクール、Sustainable Design Campは対面のみで実施されコンソーシアム内外から合計100名以上の参加があった。また、シンガポール国立大学から初めて2名の学生を受け入れ、交流を開始した。

【特に優れた取組】

オンライン方式（ZoomやTeams等を用いた双方向講義）およびオンデマンド方式（収録したデジタルコンテンツの視聴講義）の授業を展開した。この取り組みは留学開始後の学習効果を高めるとともに、学生の学習負担の調整に有用であった。

設計演習科目については、Zoom等の双方向通信と併せ、デジタルホワイトボードを利用しオンライン上でリアルタイムに修正点やコメントを直接図示することにより、対面に近い水準で受講生を指導する設計教育方法を開発した。参加型の国際ワークショップや実践科目においても一部をオンライン交流学習COILに切り替え、本来は実体験を要する実践学知についても、VR等の三次元データや双方向通信を活用した仮想空間技術により現実の都市・建築空間を模擬体験させ、実際に近い学習効果を得られるように工夫した。

2024年に本学で開催したサマースクール（Sustainable Design Camp）には、テキサスA&M（US）や中国文化大学（台湾）、忠北大学（韓国）、天津大学（中国）からも学生と教員の参加があった。コンソーシアム以外の大学からも本プログラムへの関心が寄せられ、国際協働教育の先導モデルとして成果を上げている。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】 (単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】 (単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
釜山大学校	認定者数	1	1	1	2	2
	認定単位数	10	10	10	20	20
同済大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	10	10	10	10
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		1	2	2	3	3
年度別認定単位数合計		10	20	20	30	30

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】 (単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	1	1	1	2	1	1	1	1		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】 (単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
釜山大学校	認定者数	10	0	4	5	
	認定単位数	40	0	12	15	
同済大学	認定者数	0	28	1	1	
	認定単位数	0	112	18	11	
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		10	28	5	6	0
年度別認定単位数合計		40	112	30	26	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	長崎大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	アジアの大学間連携による持続社会基盤整備を支えるグローバル人材育成事業		
	【英文】	Asia Intercollegiate Cooperative Project for Nurturing Global Leaders in Sustainable Infrastructure Development		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	坂口 大作	(所属・職名) 大学院工学研究科・研究科長	
	(交替年月日)	令和5年4月1日		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://campus-asia.eng.nagasaki-u.ac.jp/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	1	8	16	10	25	12	25	11	26	41
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	1	3	4	2	5	4	5	3	6	12	21
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	12	8	20	8	20	8	20	29	72

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	1	8	16	10	25	12	25	11	26	41
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	1	3	4	2	5	4	5	3	6	12	21
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	12	8	20	8	20	8	20	29	72

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(ⅲ)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		6	24	10	27	12	29	8	15	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	2	5	4	10	6	3		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A 0	A 1	A 1	A 14	A 0	A 0	A 0	A 0	A	A
	B 6	B 23	B 0	B 0	B 0	B 0	B 0	B 0	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	7	8	8	19	2	12		
達成目標に対する実績の割合	#DIV/0!	2400%	125%	169%	120%	116%	67%	60%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	6	24	10	27	12	29	8	15	0	0	36	95			
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	4	0	3	0	2			0	9		
	オンライン	A	0	A	1	A	0	A	0	A	0	A	0	0	1
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	11	0	11			0	22		
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	2	1	2	6	3	1			7	8		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	8	0	0			0	8		
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	2	1	3	1			5	2		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	6	B	23	B	0	B	0	B	0	B	0	6	23
	ハイブリッド	0	0	0	0	8	0	2	0			10	0		
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	1	A	14	A	0	A	0	1	14
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	7	8	0	0	0	0			7	8		
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	1	2	5	12	23	8	13	0	0
実渡航	0	0	2	5	4	3	6	2		
オンライン	A 0 B 0	A 1 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	8	20	2	11		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	6	23	0	0	0	6	0	2	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	6	0	2		
オンライン	A 0 B 6	A 0 B 23	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	8	22	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 1 B 0	A 14 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	7	8	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等）を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	1	4	12	0	29	5	15			9	57

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	30	37	41	29		137

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

本事業は2021年度から2022年度までの2年間で事業立ち上げ期とし、2023年度から2025年度の3年間で事業充実期とし、学生を派遣する計画である。新型コロナウイルス感染症パンデミックを考慮し、学生の派遣に際しては安全を最優先としている。2021年度は、学生派遣数はゼロの計画であったが、2022年度に実施する予定の「ハイブリッド型短期留学プログラム」の試行的な取組として、「日中韓オンライン学生交流プログラム」を実施することができ、長崎大学から6名の学生を派遣することができた。2022年度には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で長崎大学からDDプログラム生の派遣が困難であったが、成均館大学にはその代替として、「単位互換制度を活用した短期留学プログラム」として2名の学生を派遣した。また、ハイブリッド型短期留学プログラムに長崎大学から8名が参加し、成均館大学に3名、南洋理工大に4名を派遣し、オンライン講義を受講すると共に、成均館大学と山東大学に2ヶ国以上の実渡航留学として計8名の学生を派遣した。さらに、予定を早め2023年度中にASEAN拡張型短期留学プログラムとして博士後期課程の学生を2名南洋理工大学に派遣することができた。2024年度には長崎大学からは短期留学プログラムで成均館大学へ3名の学生を派遣した。また、ハイブリッド型短期留学プログラムに長崎大学から12名が参加し、オンライン講義を受講すると共に、成均館大学と山東大学に2ヶ国以上の実渡航留学として計10名の学生を派遣した。特に、長崎大学からラオスへの実渡航で2名の学生を派遣することができた。さらに、博士後期課程の学生を3名南洋理工大学に派遣することができた。派遣先大学での英語による講義や多国籍学生との交流経験、海外での生活を通して、他国の文化に密接に触れることができ、「グローバル人材」であることを学生自らが自覚できる貴重な経験となった。毎年実施するインフラ人材育成コンソーシアム運営会議では、5年間の学生交流人数の計画を意見交換し、共通認識を行い、計画どおりに学生を派遣する所存である。

【特に優れた取組】

毎年、4月に学内説明会を複数回開催することによって、事業の全体説明だけでなく、単位認定可能科目数や履修手続き、派遣スケジュール、出願書類や経済支援（奨学金、宿舎、交通費）等、留学に関する様々な情報の詳細を説明し、留学を希望する学生に対して、国際交流の重要性を具体的に感じさせ、不安や疑問を減らした状態での留学検討を可能にした。留学するにあたり必要となる心構えや準備を事前に示すことで、語学力向上を促す等、学生の意識改善を図ることができた。2023年度にDDプログラムで初めて成均館大学に派遣した2名の学生は2022年度のハイブリッド型短期留学プログラムに参加しており、他の交流プログラムへの参加意欲に喚起したと言える。今後実施する他のプログラムへもよい影響を与え、波及効果が高いと考えられ、大学全体の国際化の推進に貢献できた。2023年度にはシンガポール南洋理工大学との学術及び学生交流協定も締結ができ、長崎大学では当該大学との協定締結が初となるため、本学の協定校の増加に繋がったと同時に多様な国・地域からの留学生の受入れの増加にも貢献できた。2024年度には長崎大学からは成均館大学へ派遣した3名の短期プログラム学生のうちの1名は令和5年度のハイブリッド型短期留学プログラムに参加しており、ダブル・ディグリープログラムへの参加に向け「呼び水的な効果」として派遣学生の確保に貢献できた。2024年7月にラオス国立大学と学生交流に関するMOAを締結し、ASEANへ拡張するための大きな前進となった。その結果として長崎大学からラオスへの実渡航で初めて2名の学生を派遣することができた。これまでの4年間は派遣目標人数が30人の所、実際の派遣学生が46人となり予定を上回る実績となった。

⑩：交流プログラム（受入）の進捗状況のコメント

本事業は2021年度から2022年度までの2年間で事業立ち上げ期とし、2023年度から2025年度の3年間で事業充実期とし、学生を受入れる計画である。新型コロナウイルス感染症パンデミックを考慮し、学生の受入に際しては安全を最優先としている。山東大学と第2モードからの連携体制により、2021年度12月に2022年度入学の博士前期課程の入試を実施した。その結果、山東大学から3名の学生が合格し、2022年9月から受入れた。また、2020年9月に受入れを行い、2021年8月に帰国した山東大学の4名のダブル・ディグリー学生の修士論文に関する試問会を2022年2月に実施した。試問会はzoom会議システムを利用して、山東大学の指導教員も長崎大学での論文審査委員会に参加し、発表学生への質疑応答も行われた。さらに試問会終了後、コース担当教員による判定会議を開催し、修士論文の合格判定を長崎大学の教員と一緒に行った。さらに、博士後期課程でのダブル・ディグリープログラムは、2021年度に制度設計を完了し、2022年度に受入れを開始する予定であったが、予定を半年間早めて、2021年度中に山東大学から1名の博士後期課程のダブル・ディグリー学生の受入れを実現することができた。新型コロナウイルス感染症の影響で入国制限を受けて来日できていない期間中は、指導教授がオンラインシステムを活用して研究計画の作成と研究指導を行っていた。2022年度に実施する予定の「ハイブリッド型短期留学プログラム」の試行的な取組として、「日中韓オンライン学生交流プログラム」を実施することができ、山東大学から17名と成均館大学から6名の学生を受入れることができた。次年度に開催するオンラインプログラムに係わる諸課題についても把握することができた。2022年度には前期・後期課程の日中韓のDDプログラムとして、山東大学から4名の学生を受入れ、短期留学プログラムとして成均館大学から1名を受入れた。また、ハイブリッド型短期留学プログラムに山東大学、成均館大学、ラオス国立大学から22名が参加した。そのうち、実渡航では、韓国・成均館大学から6名とラオス国立大学から2名を受入れた。2023年度には前期課程の日中韓のDDプログラムとして、山東大学から3名の学生を受入れ、韓国成均館大学から特別プログラム「Winter Short-Term Exchange Program」として6名の学生を受入れた。また、ハイブリッド型短期留学プログラムに山東大学、成均館大学、ラオス国立大学から24名が参加し、実渡航では全学生が参加した。2024年度には前期課程の日中韓のDDプログラムとして、山東大学から2名の学生を受入れ、韓国成均館大学から特別研究学生として1名の学生を受入れた。また、ハイブリッド型短期留学プログラムに山東大学、成均館大学、ラオス国立大学から24名が参加し、実渡航では全学生が参加した。2024年7月にラオス国立大学と学生交流に関するMOAを締結し、ASEANへ拡張するための大きな前進となった。その結果として2024年度中にASEAN拡張型短期留学プログラムとしてラオス国立大学から1名の学生と1名の教員を受入れることができた。受入留学生は、インフラに係る特別講義を履修すると共に、土木構造研究室に配属され研究活動を行うことで本学学生と学術交流を行った。同時に、インフラに関わる教員も招聘し、配属された研究室の学生と交流を行うとともに研究指導も実施した。

【特に優れた取組】

山東大学との第2モードからの連携体制により、ダブル・ディグリープログラム（博士前期課程）ではこれまでの4年間で8名の学生を、さらにダブル・ディグリープログラム（博士後期課程）が実現でき、1名の学生を受入れることができた。特に博士後期課程でのダブル・ディグリープログラムは、長崎大学全体及び大学院工学研究科においても、初めての取組であり、その推進により長崎大学の国際化に大きく寄与している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実渡航ができない中、事務局に配置した留学生対応の経験が豊富なネイティブの語学国際コーディネーターが対応を行い、受入れる体制を整えている。これまでのダブル・ディグリープログラムの学生の多くは、自国と留学先の大学院博士後期課程への進学や大手企業への就職等を決めており、極めて優秀な人材育成が実現できている。国際共同学位プログラムとして国際的に活躍できる人材育成の役割を十分に果たしていると考えられる。また、相手大学の指導教員を学位審査員として参加させることにより、教育の質が保証されている。さらにコンソーシアム運営会議及び大学間担当者会議においては、ダブル・ディグリー制度の課題点等を三大学で話し合い改善方法について議論するなど、継続的な改善を実施することができた。2024年度中にASEAN拡張型短期留学プログラムとして初めてラオス国立大学から1名の学生と1名の教員を受入れることができた。これらにより本学学生は、同世代の海外の学生と交流を深め国際感覚を身に付けると共に、英語を介したコミュニケーション能力の向上やグローバルな考え方を習得することが期待される。さらにASEANへ拡張するための大きな前進となった。これまでの4年間は受入目標人数が67人の所、実際の受入学生が108人となり大幅に予定を上回る実績となり、このように学生の派遣・受入ともに当初の計画を上回る結果となった。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(4) 【交流相手国別の交流学生数 内訳】 (実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		9	18	14	17	8	19	14	15	0	0	45	69
中国	実渡航	0	0	0	4	0	3	0	2			0	9
	オンライン	3	12	3	6	0	0	0	0			6	18
	ハイブリッド	0	0	0	0	1	10	2	11			3	21
韓国	実渡航	0	0	2	1	2	6	3	1			7	8
	オンライン	6	6	0	1	0	0	0	0			6	7
	ハイブリッド	0	0	3	4	1	0	2	0			6	4
シンガポール	実渡航	0	0	0	0	2	0	3	0			5	0
	オンライン	0	0	2	1	1	0	2	0			5	1
	ハイブリッド	0	0	1	0	0	0	0	0			1	0
ラオス	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	1			0	1
	オンライン	0	0	3	0	1	0	2	0			6	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	0	1	2	3	2	4	2	4	2	4

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：長崎大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
山東大学	認定者数	0	6	9	10	9
	認定単位数	0	30	39	43	39
成均館大学校	認定者数	0	7	9	9	9
	認定単位数	0	34	39	39	39
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	13	18	19	18
年度別認定単位数合計		0	64	78	82	78

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	0	1	1	2	2	2	2	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：長崎大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
山東大学/成均館大学 校	認定者数	0	0	8	2	
	認定単位数	0	0	8	2	
成均館大学校	認定者数	0	2	0	3	
	認定単位数	0	12	0	12	
ラオス/シンガポール	認定者数				0	
	認定単位数				0	
年度別認定者数合計		0	2	8	5	0
年度別認定単位数合計		0	12	8	14	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	早稲田大学			
タイプ	タイプA①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	文明間対話促進のための文化的知性を備えたソーシャルイノベーター共同育成プログラム		
	【英文】	Social Innovation Program for Promoting Dialogue of Civilizations and Fostering Cultural Intelligence in Contemporary Asian Societies		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	佐藤 洋一	(所属・職名) 早稲田大学社会科学総合学院・ 学術院長	
	(交替年月日)	令和6年9月21日		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://dpt-campusasia-mode3.w.waseda.jp/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	30	50	60	55	70	75	80	85	90	275
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	20	10	20	10	30	10	30	10	100	40
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	10	30	20	40	25	50	35	60	45	70	135	250
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	10	10	10	10	10	10	10	10	40	40

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	30	50	60	55	70	75	80	85	90	275
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	20	10	20	10	30	10	30	10	100	40
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	10	30	20	40	25	50	35	60	45	70	135	250
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	10	10	10	10	10	10	10	10	40	40

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	7	4	24	34	20	39	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)			6	4	17	7	20	38		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	A	A 1	A 0	A 0	A 0	A 0	A 0	A	A
	B	B	B 0	B 0	B 7	B 27	B 0	B 1	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)			0	0	0	0	0	0		
達成目標に対する実績の割合	0%	0%	14%	7%	44%	49%	27%	49%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	0	0	7	4	24	34	20	39	0	0	51	77	
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	1	3	3	5	1		8	5	
	オンライン	A	0	A	0	A	1	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	1	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	3	3	3	3	14	6		20	12	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	3	0	1	1	1	3		5	4	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	10	0	0	28		10	28	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	7	B	27	B	7
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	1	1	3	1	0	0	4	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
【交流形態別 内訳】												
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	6	4	7	7	11	10			
	オンライン	A	0	A	0	A	1	A	0	A	0	A
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	17	27	9	29	0	0	
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	B	0	B	0	B	7	27	0	1
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	3	4	6	7	9	9			18	20

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について(実績) ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	0	0	19	27		46

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

2024年度において、本学から3校の協定校へ合計11名(うち5名が1年間の長期留学を選択)の学生を派遣した。2025年2月には「ソーシャルイノベーションツアー」を実施した。担当教員がソーシャルイノベーションに関心を持つ学生10名を引率し、協定校である高麗大学、日中韓三国協力事務局、韓国社会的企業振興院を訪問した。

【特に優れた取組】

留学後に必須提出としている写真入り報告書（Photo Journal）によると、学生たちは専門分野の履修や語学学習に加え、留学先の大学で開催される各種イベントやサークル活動に積極的に参加し、学生間の交流を深めていることが確認されている。また、国内だけでなく周辺諸国への訪問を通じて、幅広く見聞を広げる機会を得ている。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

2024年度における受け入れ学生数は、協定3校から計10名となり、昨年度の7名を上回った。また、2024年7月には、キャンパスアジアプログラムの年次総会に相当する「ソーシャルイノベーションフォーラム（Social Innovation Forum, SIF）」を本学で開催した。韓国、中国、日本の3大学から教職員を含む約40名が参加した。フォーラム期間中、参加学生はグループに分かれ、本学周辺地域、主に大久保エリアにおいてアジアンコミュニティを対象としたフィールドワークを実施した。その後、グループディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通じて、ソーシャルイノベーターとして必要な実践的な経験を積むことができた。

【特に優れた取組】

2022年度に本プログラムを利用して高麗大学へ留学した本学の学生を中心に、定例の「キャンパスアジアカフェ」が開催されている。このイベントは、受け入れ交換留学生が充実した学生生活を送るための支援になるとともに、アジアの語学や文化に関心を持つ学生に交流の場を提供する役割を果たしている。学生主体で運営されるこのイベントは、参加者間の相互理解を深め、国際交流の促進に寄与するなど、良好な効果を上げておりと評価されている。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：早稲田大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京大学	認定者数	0	4	4	4	4
	認定単位数	0	100	100	100	100
高麗大学	認定者数	0	3	3	3	3
	認定単位数	0	75	75	75	75
南洋理工大学	認定者数	0	3	3	3	3
	認定単位数	0	75	75	75	75
年度別認定者数合計		0	10	10	10	10
年度別認定単位数合計		0	250	250	250	250

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	0	0	3	2	3	3	3	3		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：早稲田大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京大学	認定者数	0	1	0	3	
	認定単位数	0	20	0	15	
高麗大学	認定者数	0	3	3	4	
	認定単位数	0	63	58	80	
南洋理工大学	認定者数	0	3	4	0	
	認定単位数	0	54	12	0	
年度別認定者数合計		0	7	7	7	0
年度別認定単位数合計		0	137	70	95	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	○立命館大学、立命館アジア太平洋大学			
タイプ	タイプA②	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	東アジアグローバルリーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス		
	【英文】	Korea-China-Japan Joint Campus program to foster global leaders for East Asia		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	遠藤 英樹	(所属・職名) 文学部 学部長	
	(交替年月日)	令和6年4月1日		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				

大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL
 ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用

<https://www.ritsumeai.ac.jp/campusasia/>

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	61	69	114	105	116	113	112	120	112	120	515	527
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	32	36	76	65	78	73	74	80	74	80	334	334
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	29	33	38	40	38	40	38	40	38	40	181	193
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	61	69	114	105	116	113	112	120	112	120	515	527
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	32	36	76	65	78	73	74	80	74	80	334	334
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	29	33	38	40	38	40	38	40	38	40	181	193
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度											
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入										
	72	93	102	105	89	106	86	109	0	0										
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	14	0	35	71	39	65	49	68												
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	20	A	62	A	40	A	2	A	0	A	4	A	0	A	0	A		A	
	B	38	B	31	B	27	B	32	B	36	B	37	B	37	B	41	B		B	
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	14	0	0	0												
達成目標に対する実績の割合	118%	135%	89%	100%	77%	94%	77%	91%	0%	0%										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計													
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入												
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	72	93	102	105	89	106	86	109	0	0	349	413												
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	38	12	40	24	40			36	118											
	オンライン	A	13	A	41	A	35	A	2	A	0	A	4	A	0	A	0	A		A		48	47	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		0
	ハイブリッド	0	0	0	0	14	0	0	0			14	0											
交流相手国 韓国	実渡航	14	0	35	33	27	25	25	28			101	86											
	オンライン	A	1	A	21	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		1	21	
		B	0	B	0	B	3	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		3	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
	オンライン	A	6	A	0	A	5	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		11	0	
		B	38	B	31	B	24	B	32	B	36	B	37	B	37	B	41	B		B		135	141	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A		A		0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B		B		0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0											

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	0	A	15	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	34	31	75	67	53	65	49	68	0	0
	オンライン	A	20	A	31	A	40	A	2	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	14	0	0	0		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	6	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	16	A	0	A	0	A	4
		B	38	B	31	B	27	B	32	B	36
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	14	0	35	65	53	65	49	68			151	198

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
	151	192	255	288		886

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

4年一貫のプログラムというプログラムの特性上、年度ごとのプログラム生は入学時点で確定し、1年間の派遣前教育を経た後に実渡航となる。新規プログラム生は2023年度(8期生)にコロナ禍以前の水準に回復させたものの、2022年度(7期生)の激減や中途辞退(3名)を受け、2024年度の実渡航(7、8期生)も計画の7割弱の達成率となった(交流形態:③実渡航)。CAコース生の減少を受け、IAコース生を大幅に確保することで、計画人数の補填を行った。また、2023年2月の中国短期留学ビザ解禁後、早期の現地派遣を実現させたこともあり、2024年度は中国・韓国ともに年度を通じた実渡航を安定的実施を実現させ、コロナ禍以前の平常態に回復させた。なお、渡航前教育での成績不振など中途辞退者が3名(2023年度:8期生)あったが、2年次以降の本学で開講される現地実習プログラムやIntensive Language Workshopなどを受講するなど、辞退後も国際的学びを継続するサポートを行っている。

派遣前教育で行っている3ヵ国4大学CAP生によるオンライン結団式のほか、コンソーシアム参加校以外にも積極的にオンライン交流を実施し(韓国の大学と計2回:交流形態:④オンラインB)、ほぼ計画通りの交流学生数を確保した。今後も、プログラム外も含めた交流を推進する計画である。派遣手続きは、マニュアルが整備されており、安定的に進行している。

【特に優れた取組】コロナ禍での現地渡航実施時に作成した渡航ガイドブックは、安定的な実渡航の実現以降も渡航前ガイダンスでの詳細な現地情報の提供に生かされており、プログラム生の渡航・留学での学びに関する不安を取り除く一助となっている。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

受入手続きはマニュアルが整備されており、大学全体でスムーズな処理がされ、受け入れ人数も安定的に推移している(交流形態:③実渡航)。韓国では兵役かつコロナ禍での休学が発生しており、休・復学の際にイレギュラーな対応や人数のアンバランスが生じているが、年度をまたいでの受入を行っている。派遣学生同様、オンライン結団式を実施したほか、オンラインで行っていた定期的な附属校生との交流は2024年度は対面で実施した。従来通り、国際寮、図書館、国際commons等の大学施設の利用、LMSシステムや履修にかかわる各種ガイダンスを実施し、受講に支障をきたさないようサポート体制を整えている。

【特に優れた取組】CAP生による学生自主団体「Campus Asia Homies」の運営に、本学CAP4年次生以外に中韓受入生も積極的に携わることで、受入学生のニーズにあわせた企画、ピア・ラーニング、ピア・サポートが行われた。附属高校に訪問しての対面交流は、日本の教育や学校生活などに関する知見を広げるとともに、国際的学びを志向する高校生のモチベーションを高める機会となった。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
アジアグローバルコース				3	3
インテンシブアジアコース			2	2	2
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
アジアグローバルコース				1	
インテンシブアジアコース			2	6	
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

2024年度に派遣開始となったアジアグローバルコースは、1名の派遣が実現した。25年度派遣の対象となるプログラム生に対して、募集要項の配布や留意点などのコース内容を周知し、募集を行い、1名の派遣が確定している。

インテンシブアジアコースでは、23年度に募集・選抜を実施し、計画を上回るの実渡航派遣を行った。派遣にあたっては、キャンパスアジアコース生に実施している渡航前ガイダンスにオンラインで参加し、渡航や移動キャンパス時の手続き、諸注意を周知徹底した。

【特に優れた取組】立命館・アジア太平洋大学に1学期間派遣するAGコース生に提供される科目群は、当初の予定されていた2学部の開設科目に加え、プログラム生の関心の高いサステナビリティ観光学部の開設科目の追加を実現させ、より幅広い専門的知識の提供を可能とした。

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】 (単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】 (単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：立命館大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
広東外語外貿大学	認定者数	16	38	37	35	35
	認定単位数	240	570	555	525	525
東西大学校	認定者数	16	38	37	35	35
	認定単位数	240	570	555	525	525
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		32	76	74	70	70
年度別認定単位数合計		480	1140	1110	1050	1050

2. 国内連携大学 【大学名：立命館アジア太平洋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
広東外語外貿大学	認定者数	0	0	2	2	2
	認定単位数	0	0	28	28	28
東西大学校	認定者数	0	0	2	2	2
	認定単位数	0	0	28	28	28
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	4	4	4
年度別認定単位数合計		0	0	56	56	56

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】 (単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	2	2	2	2	2	2	2	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】 (単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：立命館大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
広東外語外貿大学	認定者数	14	35	24	19	
	認定単位数	163	436	312	270	
東西大学校	認定者数	14	35	25	19	
	認定単位数	168	331	330	255	
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		28	70	49	38	0
年度別認定単位数合計		331	767	642	525	0

2. 国内連携大学 【大学名：立命館アジア太平洋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
広東外語外貿大学	認定者数	0	0	2	5	
	認定単位数	0	0	26	60	
東西大学校	認定者数	0	0	2	6	
	認定単位数	0	0	40	110	
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	4	11	0
年度別認定単位数合計		0	0	66	170	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	東北大学			
タイプ	タイプB①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	アジア型デンティストリーコンソーシアムによるマルチモーダルなグローバルリーダー育成		
	【英文】	Multimodal Global Leaders Development through Asian-Model Dentistry Consortium		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	小坂 健	(所属・職名) 歯学研究科・研究科長	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			

大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL
※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用

<https://www.dent.tohoku.ac.jp/english/caind/>

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は(注)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	90
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	5	8	10	10	15	15	15	15	45	48
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	7	7	10	8	5	5	0	0	0	0	22	20
実渡航とオンライン受講を行う学生 (以下「ハイブリッド」)	3	3	5	4	5	5	5	5	5	5	23	22

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は(注)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生 (以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は(注)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	90
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	5	8	10	10	15	15	15	15	45	48
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	7	7	10	8	5	5	0	0	0	0	22	20
実渡航とオンライン受講を行う学生 (以下「ハイブリッド」)	3	3	5	4	5	5	5	5	5	5	23	22

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は(注)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		24	15	13	37	20	68	33	57	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	8	29	20	62	33	51		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
	B	24	B	13	B	5	B	6	B	0
実渡航とオンライン受講を行った学生 (以下「ハイブリッド」)	0	2	0	2	0	6	0	6		
達成目標に対する実績の割合	240%	150%	65%	185%	100%	340%	165%	285%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

			2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
			派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数			24	13	13	35	20	58	33	47	0	0	90	153
交流相手国中国	実渡航		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国韓国	実渡航		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国ASEAN	実渡航		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国中国及び韓国	実渡航		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国中国及びASEAN	実渡航		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国韓国及びASEAN	実渡航		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
交流相手国中国、韓国及びASEAN	実渡航		0	0	8	29	20	58	33	47			61	134
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	24	13	5	6	0	0	0	0	B	B	29	19
ハイブリッド		0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
自己負担又は大学負担等による交流学生数			0	2	0	2	0	10	0	10	0	0	0	24
	実渡航		0	0	0	0	0	4	0	4			0	8
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	0	0
ハイブリッド		0	2	0	2	0	6	0	6			0	16	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

●合計

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の 交流学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生 数		2	3	2	4	3	5	5	5	5	5
	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	2	3	2	4	3	5	5	5	5	5
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以 上3ヶ月未満の交流学生数		5	5	10	8	12	12	12	12	12	12
	実渡航	0	5	0	0	7	7	12	12	12	12
	オンライン	5	0	10	8	5	5	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生 数		3	2	8	8	5	3	3	3	3	3
	実渡航	0	0	5	8	3	3	3	3	3	3
	オンライン	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	1	0	3	0	2	0	0	0	0	0

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	24	13	5	0	13	0	31	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	13	0	31	0		
オンライン	A 0 B 24	A 0 B 13	A 0 B 5	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の 交流学生数	0	0	8	0	7	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	8	0	7	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生 数	0	2	0	2	0	10	0	6	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	4	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	2	0	2	0	6	0	6		
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	35	0	58	2	47	0	0
実渡航	0	0	0	29	0	58	2	47		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 6	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日 以上3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生 数	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
実渡航	0	0	0	0	0	0	0	4		
オンライン	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A 0 B 0	A B	A B
ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0		

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等）を 提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	2	7	15	8	22	13	12			28	51

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同 窓会ネットワークへの参加者数について	2021	2022	2023	2024	2025	合計
	年度	年度	年度	年度	年度	
						0

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

2024年度は、短期派遣プログラムに33名の本学学生を派遣し、KPI（20名）を達成することができた。

1. 夏季短期派遣プログラムの実施

- ・2024年7月1日～7月12日に四川大学に5名の学生を派遣した。
- ・2024年9月1日～9月22日の22日間、韓国のソウル大学と延世大学（5名）、タイのチュラロンコーン大学とチェンマイ大学（3名）、インドネシア大学とアイルランガ大学（3名）に、計11名の学生を派遣した。

2. 春季短期派遣プログラムの実施

- ・3月2日～3月17日に、タイのチュラロンコーン大学とチェンマイ大学（7名）、3月2日～3月23日の間に、インドネシア大学とアイルランガ大学（6名をインドネシア大学に17日間、うち2名はアイルランガ大学にさらに5日間）、3月17日～3月28日に、韓国のソウル大学と延世大学（4名）、計17名の本学学生を派遣した。

3. 派遣学生数増加のための工夫

- ・歯学部学生に留学への興味を持ってもらうために、派遣学生が提出した終了後レポートをはじめ、過去のプログラムスケジュールや宿舎情報等を整理して歯学部学生に公開している。留学に行きたい学生が多いという話を学生から聞いたため、今後は留学意向アンケート調査を実施し、歯学部の現状を把握することを計画している。

【特に優れた取組】

(1) 派遣学生数のKPIの達成

- ・歯学部生は、臨床実習や国家試験等により、カリキュラム上海外派遣プログラムへの参加が困難な状況にあるが、2024年度には、33名の本学学生を短期派遣プログラムに派遣することができ、KPIを達成することができた。

(2) 学生が参加しやすい派遣プログラム作り

- ・4週間の派遣だけでなく、2週間のプログラムも設定し、歯学部学生が参加しやすい派遣留学プログラムを提供する工夫をしている。
- ・事前研修をオンラインで実施したり、Google Classroomを活用することで、渡航手続きに関わる提出物等の確認がスピーディーにできる工夫をしている。
- ・歯学部学生に短期派遣プログラムの情報提供を徹底するため、派遣学生が提出した終了後レポートをはじめ、過去のプログラムスケジュールや宿舎情報等を整理して歯学部学生に公開している。留学のイメージを持ってもらい、本学学生の留学意欲の向上を目指している。

⑩：交流プログラム（受入）の進捗状況のコメント

2024年度は、本事業連携校（北京大学、四川大学、ソウル大学、延世大学、チュラロンコーン大学、インドネシア大学）の学生57名を受け入れ、KPI（20名）を大幅に達成することができた。

1. 夏季短期受入プログラムの実施

- ・6月3日～6月7日、チュラロンコーン大学より7名の歯学生を対面で受け入れた。
- ・7月29日～8月9日、延世大学（5名）、チインドネシア大学（3名）を含む計8名の歯学生を対面で受け入れた。
- ・9月9日～9月20日、ソウル大学（1名）の歯学生を対面で受け入れ、Externshipプログラム（病院見学中心のプログラム）を実施した。

2. 冬季短期受入プログラムの実施

- ・2月3日～2月14日、北京大学（5名）、四川大学（9名）、ソウル大学（5名）、延世大学（5名）、チュラロンコーン大学（5名）、インドネシア大学（2名）を含む計31名の歯学生を対面で受け入れ、日本人学生との交流を含む留学プログラムを実施した。

3. その他

- ・ダブルディグリープログラムを通して、四川大学（4名）、チュラロンコーン大学（1名）、インドネシア大学（1名）、合計6名をオンラインによる交流プログラムを実施した。
- ・共同研究推進型 Semester ベース大学院短期交流プログラムを通して、チュラロンコーン大学（3名）、インドネシア大学（1名）合計4名を対象にオンラインによる交流プログラムを実施した。

【特に優れた取組】

(1) クリニカルスキルトレーニングプログラムの実施

災害歯科医療学、トランスレーショナルリサーチ学、デジタル歯学に関する講義を実施すると共に、留学生向けクリニカルスキルトレーニングプログラムを新規設置し、実施した。具体的には審美歯科に関するデンタルフォトコースとデジタルフローコースの2コースを設置し、2024年度は、CA+inD夏季・冬季プログラムの一環として、学生向けのデンタルフォトコースを実施した。学生はコースに参加し、臨床治療に応用するための、難易度の高い様々な臨床写真の撮影方法を学んだ。

(2) サポーター制度の充実化

2024年度は、短期受入プログラムにおける支援学生（サポーター）向けのオリエンテーションを新たに実施した。役割理解や心構えを共有することで、交流活動の質の向上を図った。

(3) 派遣プログラムの多様化による参加者数の増加

派遣プログラムにおいて、2週間コースと3週間コースを同時に実施したことで、柔軟な参加形態が可能となり、結果として参加者数の増加に貢献した。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：東北大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京大学	認定者数	1	1	1	2	2
	認定単位数	10	10	10	20	20
ソウル大学校	認定者数	1	1	1	2	2
	認定単位数	18	18	18	36	36
チュラロンコーン大学	認定者数	0	0	1	1	1
	認定単位数	0	0	10	10	10
年度別認定者数合計		2	2	3	5	5
年度別認定単位数合計		28	28	38	66	66

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	0	1	0	1	0	3	0	3		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：東北大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
ソウル大学校	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
チュラロンコーン大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	筑波大学			
タイプ	タイプB①			
事業名	【和文】	地球規模課題解決に資する教育政策マネジメント専門人材育成プログラム		
	【英文】	Development Program for Professionals in Educational Policy Management Contributing to Solving Global Issues		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった 場合のみ記入	(氏名)	加藤光保	(所属・職名) 副学長・理事（教育担当）	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://campusasia6.education.tsukuba.ac.jp/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		20	20	45	45	50	50	50	50	50	50	215
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	20	20	25	25	30	30	30	30	30	30	135	135
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	20	20	20	20	20	20	20	20	80	80

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		20	20	45	45	50	50	50	50	50	50	215
実際に渡航する学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生(以下「オンライン」)	20	20	25	25	30	30	30	30	30	30	135	135
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	20	20	20	20	20	20	20	20	80	80

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	6	21	13	36	36	47	0
実際に渡航した学生(以下「実渡航」)	0	0	0	0				7		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)	A	0	A	0	A		A		A	
	B	0	B	0	B	1	B	5	B	6
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)										
達成目標に対する実績の割合	0%	0%	13%	47%	26%	72%	72%	94%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

③：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(計画)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数		0	0	10	20	10	20	10	20	10	20	40	80
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交流相手国 中国、韓国及び ASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	10	20	10	20	10	20	10	20	40	80
自己負担又は大学負担等による交流学生数		20	20	35	25	40	30	40	30	40	30	175	135
	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	100	100
	ハイブリッド	0	0	15	5	20	10	20	10	20	10	75	35

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計								
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入							
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0				
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	6	21	13	36	36	47	0	0	55	104						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0				
		B	0	B	0	B	1	B	5	B	6	B	13	B	32	B	9	B	39
	ハイブリッド	0	0	5	16	7	23	4	31			16	70						

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
【交流形態別 内訳】												
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	21	7	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	21	7	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	5	16	7	23	4	31	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	5	16	7	23	4	31	0	0	
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	1	5	6	13	6	7	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	1	5	6	13	6	7	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑤上記以外の 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	5	16	7	23	4	31			16	70

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
						0

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

2024年度は第3期生として4名を海外に派遣した。内訳は、プログラムA（教育学コア3名）、プログラムC（物質・材料学コア）1名である。第1ステージは派遣前に日本でオンライン2科目を受講し、9月半ばに来日した受入学生とともにバスオリエンテーションに参加し交流を深めた。第2ステージではそれぞれの派遣先で授業およびフィールドワークを通じて研究に取り組み、コミュニケーション能力を伸ばしながら専門性の向上ならびにグローバルな視野の獲得に努めた。派遣先の教員に課外で学校訪問の希望を伝えるなど、主体的に調査に取り組んだ。第2ステージ中に開催した4回のStudent Exchange Meeting (SEM)においては、派遣元、派遣先、研究分野が異なる参加学生がオンライン上で積極的に意見を交わしながら、会議運営に関する実践的スキルを習得するとともに、互いに刺激を受けながら成長する姿が見られた。続く第3ステージは、最終段階となる国際学生カンファレンスでの発表に向けて参加学生一人ひとりが準備を重ね、プログラムの成果を結実させた。

【特に優れた取組】

2025年3月13日（木）及び3月14日（金）の2日、教育学学位プログラムで毎年開催を行っているハイブリット型国際学生カンファレンス (Hybrid International Student Conference (HISC)) と本事業(CAMPUS-Asia6)の合同国際会議を開催した。CAMPUS-Asia6プログラムに参加した海外学生が5名来日し、地球規模課題解決のための活発なディスカッションを行った。また、コロナ禍においては開催できなかったコンソーシアム大学（6大学）による対面の会議をはじめ開催することができた。6大学の教職員により本事業の振り返りと今後の展望についての意見交換が行われたほか、参加学生からは活動を通じて感じたこと、学んだこと、後輩へのメッセージが発表された。本取組を通じて国際性が一層高まり、異文化間の理解促進、国際的な発信力に寄与する貴重な機会となった。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

2024年度は、プログラムA（教育学コア）に11名、プログラムB（環境科学コア）に3名、プログラムC（物質・材料科学コア）に6名、計20名の学生を本校に受け入れた。これに加え、協定校間による派遣学生数は過去最多の11名に達し、第1および第3ステージにおいて筑波大学の科目をオンラインで履修した。特筆すべき成果として、秋学期に第1ステージのオンライン課目を開講し海外パートナー校から7名が参加した点が挙げられる。これらの取り組みにより、地球規模の課題に関する多角的な学習の場の拡充に努め、海外学生の積極的な参画を促進することに貢献した。プログラムAでは、公立の小中一貫校、県立高校、国際バカロレア認定校、インターナショナルスクールなど、教育的背景や特色の異なる学校を訪問し多角的かつ広範囲な教育理解を得ることが出来た。さらに、教育行政や教育制度に関する実践的な講義を、つくば市教育委員会ならびに国立教育政策研究所にて受講した。プログラムBでは、文化的生態系サービスの評価、プログラムCでは無機材料の開発、太陽電池等に関する研究を行った。SEMでは10のグループに分かれて活動し、参加者それぞれが自身の研究内容に基づく地球規模課題へのアプローチを異なる専門分野・文化的背景を持つメンバーに対して分かりやすく提示するための説明方法や表現工夫を行った。このプロセスを通じて、第3ステージの国際学生カンファレンスでは相互理解を促進し、学際的な対話の深化につながった。

【特に優れた取組】プログラムABC合同で実施されたフィールドワークでは、産業技術総合研究所およびつくば市のリサイクルセンターならびにクリーンセンターを訪問し、廃棄物処理およびリサイクルに関する知見をマクロ的かつミクロ的視点から体系的に学修した。参加学生は多様な出身国を背景に持つものの、廃棄物管理という普遍的かつ身近な社会課題を前に、専門領域を超えた対話を通じて、各国の状況や課題に関する意見交換を活発に行った。このような異文化・異分野間の交流は、参加者に対して新たな視座を提供するとともに、持続可能な社会の構築に向けた理解を深める機会となった。また、バスオリエンテーションの一環として、JAXA筑波宇宙センターを訪問し、最先端の宇宙技術に触れる機会を得た。さらに、筑波山ジオパークでは、筑波山における地球温暖化の影響や森林植生の変化について学修し、派遣間近の日本人学生が海外の受入学生からの質問に答えるなど、異文化間の交流が促進された。加えて、音楽祭においては、各国の文化的背景を踏まえた発表が行われ、学生間の相互理解と多様性の尊重を深める機会となった。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(4) 【交流相手国別の交流学生数 内訳】 (実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	10	16	9	23	5	38	0	0	24	77
中国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	1			0	1
	ハイブリッド	0	0	0	1	2	4	1	9			3	14
韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	5	7	3	10	2	9			10	26
タイ	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	5			0	5
	ハイブリッド	0	0	3	4	2	5	1	7			6	16
マレーシア	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	1			0	1
	ハイブリッド	0	0	0	0	2	0	0	2			2	2
インドネシア	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	ハイブリッド	0	0	2	4	0	4	1	4			3	12

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	0	0	5	5	5	5	5	5	5	5

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：筑波大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数	0	20	20	20
	認定単位数	0	20	20	20	20
韓国教員大学校	認定者数	0	20	20	20	20
	認定単位数	0	20	20	20	20
コンケン大学	認定者数	0	6	6	6	6
	認定単位数	0	6	6	6	6
マレーシア工科大学	認定者数	0	7	7	7	7
	認定単位数	0	7	7	7	7
バンドン工科大学	認定者数	0	7	7	7	7
	認定単位数	0	7	7	7	7
年度別認定者数合計		0	60	60	60	60
年度別認定単位数合計		0	60	60	60	60

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数				
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	0	0	4	4	4	5	4	5		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：筑波大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数	0	0	2	1
	認定単位数	0	0	7	3	
韓国教員大学校	認定者数	0	4	1	1	
	認定単位数	0	7	2	2	
コンケン大学	認定者数	0	3	2	1	
	認定単位数	0	6	8	4	
マレーシア工科大学	認定者数	0	0	2	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
バンドン工科大学	認定者数	0	1	0	1	
	認定単位数	0	2	0	4	
年度別認定者数合計		0	8	7	4	0
年度別認定単位数合計		0	15	17	13	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		認定者数				
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	山梨大学			
タイプ	タイプB①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	A ³ I：アジア実問題解決駆動AI教育プログラム		
	【英文】	A ³ I：Real Problem Solving Driven Artificial Intelligence Education Program (A ³ I is the abbreviation of Asia Applied Artificial Intelligence)		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった 場合のみ記入	(氏名)	茅 暁陽	(所属・職名) 理事・副学長	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)	(英語表記)	
	1	杭州電子科技大学	HangZhou Dianzi University	中華人民共和国
	2	国立釜慶大学校	Pukyong National University	大韓民国
	3	マレーシア・国立ペルリス大学	Universiti Malaysia Perlis	マレーシア
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://a3i.yamanashi.ac.jp/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		15	45	30	69	35	52	40	55	45	57	165
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	20	24	20	22	25	25	25	27	90	98
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	15	45	10	30	10	30	10	30	10	30	55	165
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	15	5	0	5	0	10	0	20	15

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		15	45	30	69	35	52	40	55	45	57	165
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	20	24	20	22	25	25	25	27	90	98
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	15	45	10	30	10	30	10	30	10	30	55	165
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	15	5	0	5	0	10	0	20	15

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		41	112	15	98	46	36	50	38	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	60	31	27	35	26		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A 0	A 0	A 9	A 28	A 0	A 0	A 0	A 0	A	A
	B 41	B 112	B 2	B 8	B 7	B 9	B 7	B 12	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	4	2	8	0	8	0		
達成目標に対する実績の割合	273%	249%	50%	142%	131%	69%	125%	69%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計						
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入					
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	41	112	15	98	46	36	50	38	0	0	152	284					
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	10	9	10	11	10			20	30				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	0	0	2	0	1	0			3	0				
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	0	7	9	6	12	7			21	20				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	3	2	5	0	7	0			15	2				
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	43	13	11	12	9			25	63				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	1	0	1	0	0	0			2	0				
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
	オンライン	A	0	A	9	A	28	A	0	A	0	A	0	9	28		
		B	41	B	112	B	2	B	8	B	7	B	9	B	7	12	57
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	17	0	13	0	14	0	16	0	0	0	60				
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0		
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0		
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0				

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度				
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入			
【交流形態別 内訳】													
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	2	25	38	9	42	12	0	0		
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	2	B	8	B	7	B	9	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0				
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	4	9	7	9	8	12	0	0		
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	4	2	7	0	8	0				
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	41	112	9	64	0	18	0	14	0	0		
	オンライン	A	0	0	A	9	A	28	A	0	A	0	A
		B	41	112	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0				
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0				
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	オンライン	A	0	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A
		B	0	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B
	ハイブリッド	0	0	0	0	1	0	0	0				

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	4	62	5	27	8	18			17	107

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について(実績) ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
						0

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

今年度は全面的に新型コロナウイルス感染症の影響が無くなり、各国へ派遣が可能となったことでプログラムに全面的に学生を派遣することが出来ている。短期プログラムでは、8月に中国・杭州電子科技大学11名(8月6・16日)、韓国・釜慶大学校へ7名(8月12・22日)、サマースクール5名(8月6・16日)、2月にマレーシア・ベルリス大学へ12名(2月17・27日)の計35名の山梨大学学生が参加した。また2024年は中長期留学としては、韓国へ7名(9月-12月)、中国へ1名(9月-1月)、の計8名を派遣した。またオンラインコースにて7名の学生が参加した。このように、山梨大学は中国、韓国、マレーシアの3か国の協定校へ多くの日本人学生を派遣し、AI分野の知識習得や異文化体験の機会を提供することが出来た。また2024年3月には2023年度に韓国・釜慶大学校へ派遣を行った学生2名がデュアルディグリープログラムを終了し、学位取得者を増やすことが出来た。各国との交流は滞りなく行われており、2024年度マレーシア・ベルリス大学との修士デュアルディグリープログラム協定締結が済んだため、さらに学生間交流を活発に行う事が出来る。

【特に優れた取組】

2024年は中長期留学としては、韓国へ7名(9月-12月)、中国へ1名(9月-1月)の計8名を派遣した。また2024年3月には2023年度に韓国・釜慶大学校へ派遣を行った学生2名がデュアルディグリープログラムを終了し、学位取得者を増やすことが出来た。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

今年度ショートプログラムでは8月18日-31日の日程で山梨大学の短期プログラム受入れを行い、各国の各大学から学生を受入14名の学生が参加し、日本文化体験と本学のAI研究についての講義を行った。また中長期留学では山梨大学から受入として韓国5名、マレーシア6名、中国3名の受入を行った。山梨大学がオンラインコースとして2月にflipped classroomの授業を開講した。このコースの履修により修得した単位を各大学において認定する制度を整え、参加学生は本学の特別聴講学生として単位の付与を行った。

【特に優れた取組】

山梨大学がオンラインコースとして2月にflipped classroomの授業を開講した。このコースの履修により修得した単位を各大学において認定する制度を整え、参加学生は本学の特別聴講学生として単位の付与を行った。

受入学生についても、2023年度に受入を行っていた韓国・釜慶大学の学生1名、中国・杭州電子科技大学の学生5名が山梨大学と派遣元大学の学位を取得することが出来た。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：山梨大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
杭州電子技術大学	認定者数	0	2	2	4	4
	認定単位数	0	32	32	64	64
釜慶大学校	認定者数	0		2	4	4
	認定単位数	0	32	32	64	64
ペルリス大学	認定者数	0	1	1	2	2
	認定単位数	0	16	16	32	32
年度別認定者数合計		0	3	5	10	10
年度別認定単位数合計		0	80	80	160	160

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した 海外相手大学数	0	0	1	3	2	3	2	3		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：山梨大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
杭州電子技術大学	認定者数	0	0	2	1	
	認定単位数	0	0	32	2	
釜慶大学校	認定者数	0	3	2	7	
	認定単位数	0	18	12	144	
ペルリス大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
年度別認定者数合計		0	3	4	8	0
年度別認定単位数合計		0	18	44	146	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	名古屋大学			
タイプ	タイプB①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	アジア諸国における炭素ゼロナイゼーションのための人材育成		
	【英文】	Fostering Humans Resources for C-Zeroization in Asia Countries		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった 場合のみ記入	(氏名)	小橋 眞	(所属・職名) 工学研究科・研究科長	
	(交替年月日)	令和6年4月1日		
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した 大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://www.sustainable.material.nagoya-u.ac.jp/casia.html				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		22	66	32	126	42	156	52	156	52	156	200
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	10	30
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	20	60	25	105	35	135	45	135	45	135	170	570
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	15	5	15	5	15	5	15	20	60

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		22	66	32	126	42	156	52	156	52	156	200
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	10	30
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	20	60	25	105	35	135	45	135	45	135	170	570
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	5	15	5	15	5	15	5	15	20	60

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度						
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入					
		25	45	116	60	85	270	102	165	0	0				
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	19	0	5	30	36	36							
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	25	A	45	A	0	A	60	A	0	A	0	A	0	
	B	0	B	0	B	97	B	0	B	80	B	240	B	66	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0							
達成目標に対する実績の割合	114%	68%	363%	48%	202%	173%	196%	106%	0%	0%					

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計					
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入				
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	25	45	116	60	85	270	102	165	0	0	328	540				
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	19	0	5	30	36	36			60	66			
	オンライン	A	25	A	45	A	60	A	0	A	0	A	0	25	105	
		B	0	B	0	B	0	B	80	B	240	B	66	B	129	146
	ハイブリッド	0	0	97	0	0	0	0	0			97	0			
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0	
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0	
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度			
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入		
【交流形態別 内訳】												
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	3	27	16	32	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	1	3	1	4			
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	80	240	95	129	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	25	45	111	43	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	25	45	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	93	43	0	0	0	0			
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オンライン	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	1	0	5	7	2	4			8	11

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
						0

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

中国も含めた各国でのコロナ対策上の制限が事実上無くなった2023年度以降、当初の目標を大きく超える派遣交流ができています。特に、中国への実派遣についても事前のビザ申請が不要になった2024年度は特に大幅に増えた。韓国・タイについてもプログラム当初より安定的に派遣を進めることができ、中国・韓国・タイのいずれの相手国校に対して、下記の受入と共に双方で積極的に交流を進めることができている。特に、ジョイントディグリープログラムを組んでいなかった中国・韓国については、双方で単位互換制度確立を狙いとした交流が積極的で、日本から派遣した学生の受け入れ態勢についてもこれまでの制度の修正・変更などで強化してもらっており、日本側の派遣体制もその制度変更に合わせて対応できている状況にある。

【特に優れた取組】

これまでのシンポジウムやワークショップなどでの交流に対して、2023年度からはプログラム終了後のジョイントディグリープログラム確立に向けての準備期間として、韓国海洋科学大学校との単位互換制度の運用に基づく派遣交流ができるようになった。また、上海交通大学とも包括戦略的協定の締結のもとでの派遣交流が大規模になり、その成果に基づいて、もともと整備されていた上海交通大学との間の交流協定から単位互換制度確立・実施に向けたルール整備ができた。2025年度中には、本ルールを運用して、韓国海洋科学大学校と同様、ジョイントディグリープログラム確立に向けた準備を整えることができた。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

受入については、プログラム開始当初より積極的に受入を進めてきたチュラロンコン大学だけでなく、特に2023年度からはコロナ対策の緩和もあり、上海交通大学や韓国海洋科学大学校とも当初の計画以上に積極的に進めることができた。特に、ジョイントディグリープログラム整備に向けた準備段階としての単位互換制度を韓国海洋科学大学校とは確立・2024年度より運用している。また、2024年度には文部科学省の支援もあり、単位認定可能なオンライン受講用のビデオ教材を3科目分作成し、公開できるように準備ができた。さらに、上海交通大学と名古屋大学との間での包括的戦略協定の締結が2024年度になされたこともあり、上記オンライン受講による単位互換制度も含めた受入交流体制を確立できた。2025年度中に本格運用し、本プログラム終了後は韓国海洋科学大学校、上海交通大学ともにジョイントディグリープログラム確立を予定であることを踏まえると、当初の計画以上の成果を出している。

【特に優れた取組】

受入体制として、実交流による受け入れ人数が2023年度より大幅に増やすことができた。さらに、韓国海洋科学大学校とは個別の単位互換制度の確立ができたと同時に、その制度を適用した学生を受け入れることができています。さらに、本受入交流の取り組みの成果をジョイントディグリープログラム確立に直結させることができる体制になっている。上海交通大学とは、戦略的交流協定に基づく単位互換制度ならびにそこから発展させるジョイントディグリープログラム確立の目的が立てられている。これらの受入交流の発展は、上記のオンライン受講の教材をうまく活かしたことに基づく成果でもあり、今後はオンライン受講を活用すると共に、その後に実交流での受入プログラムを適宜組み込んだ交流プログラムを核としたジョイントディグリープログラムを確立させる予定である。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：名古屋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上海交通大学	認定者数	21	25	36	46	46
	認定単位数	0	0	0	0	0
韓国海洋大学校	認定者数	20	26	35	46	46
	認定単位数	0	0	0	0	0
チュラロンコン大学	認定者数	21	26	36	45	45
	認定単位数	0	0	0	0	0
年度別認定者数合計		62	77	107	137	137
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	0	0	0	0	3	3	3	3		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：名古屋大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上海交通大学	認定者数	0	0	80	44	
	認定単位数	0	0	0	0	
韓国海洋大学校	認定者数	0	0	80	44	
	認定単位数	0	0	0	0	
チュラロンコン大学	認定者数	0	0	80	77	
	認定単位数	0	0	0	0	
年度別認定者数合計		0	0	240	165	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）

令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	広島大学			
タイプ	タイプB①			
事業名	【和文】	インクルーシブ・マインドを醸成するアジア地域国際協働人材育成		
	【英文】	International Collaborative Human Resources Development Program in Asia to Foster Inclusive Minds		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	金子 慎治	(所属・職名) 理事・副学長（グローバル化担当）	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	40	46	64	46	64	46	64	46	64	194
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	36	24	36	24	36	24	36	24	144	96
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	10	40	10	40	10	40	10	40	10	40	50	200
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		10	40	46	64	46	64	46	64	46	64	194
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	36	24	36	24	36	24	36	24	144	96
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	10	40	10	40	10	40	10	40	10	40	50	200
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度								
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入							
		7	34	39	94	34	72	110	73	0	0						
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	30	18	17	22	36	24									
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	A	A	6	A	A	A	A	A	A							
	B	7	B	34	B	9	B	70	B	17	B	50	B	74	B	49	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)																	
達成目標に対する実績の割合	70%	85%	85%	147%	74%	113%	239%	114%	0%	0%							

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	0	0	30	29	17	22	36	24	0	0	83	75	
交流相手国 中国	実渡航							2			0	2	
	オンライン	A	A	A	A 6	A	A	A	A	A	0	6	
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0	
	ハイブリッド										0	0	
交流相手国 韓国	実渡航			8	2	2	2	2	2		12	6	
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0	
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0	
	ハイブリッド										0	0	
交流相手国 ASEAN	実渡航			22	2	1	2	2	2		25	6	
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0	
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0	
	ハイブリッド										0	0	
交流相手国 中国及び韓国	実渡航							12			12	0	
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0	
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0	
	ハイブリッド										0	0	
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航										0	0	
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0	
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0	
	ハイブリッド										0	0	
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航										0	0	
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0	
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0	
	ハイブリッド										0	0	
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航				14	14	18	20	18		34	50	
	オンライン	A	A	A	A 5	A	A	A	A	A	0	5	
		B	B 7	B 34	B 9	B 70	B 17	B 50	B 74	B 49	B	107	203
	ハイブリッド										0	0	
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	7	34	9	70	17	50	74	49	0	0	107	203
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0	
		B	B 7	B 34	B 9	B 70	B 17	B 50	B 74	B 49	B	107	203
	ハイブリッド										0	0	

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	28	19	14	18	32	18	0	0
実渡航			28	14	14	18	32	18		
オンライン	A	A	A	5	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	7	34	9	70	17	50	74	49	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	7	B	34	B	9	B	70	B	17
ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	2	5	3	4	4	6	0	0
実渡航			2	4	3	4	4	6		
オンライン	A	A	A	1	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	30	18	17	22	36	24			83	64

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
						0

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

短期派遣で8月上旬に韓国へ6名、9月中旬に長春へ12名が渡航、14名がインドネシア、タイへの2か国連続渡航を実施した。さらに、2024年度も本学から派遣された学生、受入大学の学生に加えて、連携大学の学生も参加する多国間交流の形で実施した。これにより、本学学生が合計32名となった。また、2024年度もCOIL型協働学習を短期派遣の参加必須要件としたことから参加者が85名になり、目標人数を大幅に達成した。中期派遣は、2023年度の3名から4名に増加し、目標数に近い人数となった。

【特に優れた取組】

連携大学の学生も参加できるように短期派遣を設計し直したことにより、2024年度も多国間交流を実現した。8月に韓国（本学6名、その他11名）、長春（本学12名、その他8名）、2025年2月にインドネシア（本学14名、その他3名）、タイ（本学14名、その他1名）で実施し、派遣国以外の学生との交流も可能となり、学びの幅が広がった。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

- ・本学で開催したサマースクールには、本学から11名、連携大学から18名の合計29名の学生が参加した。中期留学では6名を受入、学生は特別支援学校やアクセシビリティセンターでの交流や就業体験を行った。2024年度の前・後期に実施したCOIL型協働学習には、連携大学から計画を大幅に超える57名が参加した。
- ・サマースクールでは、福祉作業所を3か所訪問し、多様な立場の人々と共生する社会のあり方を考える機会となり、プログラムの意義が強く実感される内容となった。

【特に優れた取組】

- ・ステップアップ型プログラムにより、プログラムの参加学生が別のプログラムで学生スタッフとなるなど、修生が活躍する場を多く設けた。
- ・受入の学生について、アクセシビリティセンターや、バラスポーツイベントにおける就業体験を提供するなど、インターンシップ機会を多く設けた。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(4) 【交流相手国別の交流学生数 内訳】 (実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		28	34	66	94	99	72	279	73	0	0	472	273
中国	実渡航	0	0	0	0	6	6	12	8			18	14
	オンライン	7	11	9	21	17	16	7	10			40	58
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
韓国	実渡航	0	0	8	8	8	8	8	8			24	24
	オンライン	7	9	9	11	17	6	74	10			107	36
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
インドネシア	実渡航	0	0	11	7	8	4	15	4			34	15
	オンライン	7	12	9	18	17	15	74	18			107	63
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
タイ	実渡航	0	0	11	3	9	4	15	4			35	11
	オンライン	7	2	9	26	17	13	74	11			107	52
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：広島大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京師範大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	8	8	8	8
長春大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	8	8	8	8
韓国外国語大学	認定者数	0	2	2	2	2
	認定単位数	0	16	16	16	16
インドネシア教育大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	8	8	8	8
カサート大学	認定者数	0	1	1	1	1
	認定単位数	0	8	8	8	8
年度別認定者数合計		0	6	6	6	6
年度別認定単位数合計		0	48	48	48	48

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	0	0	1	2	2	2	0	4		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：広島大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
北京師範大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
長春大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
韓国外国語大学	認定者数	0	1	1	0	
	認定単位数	0	3	4	0	
インドネシア教育大学	認定者数	0	0	0	0	
	認定単位数	0	0	0	0	
カサート大学	認定者数	0	0	1	0	
	認定単位数	0	0	7	0	
年度別認定者数合計		0	1	2	0	0
年度別認定単位数合計		0	3	11	0	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	○長崎大学・中国海洋大学・釜慶大学校・マレーシアトレンガヌ大学			
タイプ	タイプB①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	持続可能なアジアの水産と海洋環境を実現する国際協働人材養成プログラム		
	【英文】	Asia Fisheries and Marine Environment Leaders Program		
事業責任者 ※交替年月日は変更があった場合のみ記入	(氏名)	河本 和明	(所属・職名) 水産・環境科学総合研究科長	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 ※追加調査を提出した大学のみ記入	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用				
https://www.campus-asia.com/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	6	6	8	12	10	18	10	20	34
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	6	6	8	12	10	18	10	20	34	56

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)											0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)											0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)											0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	6	6	8	12	10	18	10	20	34
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	6	6	8	12	10	18	10	20	34	56

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は (iii) 表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
		0	0	3	5	5	5	4	10	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)			3	5	5	5	4	10		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)										
達成目標に対する実績の割合	#DIV/0!	#DIV/0!	50%	83%	63%	42%	40%	56%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数	0	0	3	5	5	5	4	10	0	0	12	20	
交流相手国 中国	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 韓国	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 ASEAN	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 中国及び韓国	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航			3	5	5	5	4	10			12	20
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航											0	0
	オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	0	0
		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	0	0
	ハイブリッド											0	0

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
【交流形態別 内訳】										
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	0	0	3	5	2	5	3	10	0	0
実渡航			3	5	2	5	3	10		
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0
実渡航					3		1			
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航										
オンライン	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
ハイブリッド										

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
			3	5	3	5	1	10			7	20

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について(実績) ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
						0

⑨：交流プログラム(派遣)の進捗状況のコメント

中国海洋大学を除く2大学については、例年コンスタントに学生を派遣することができている。プログラムが4年目になり、応募理由に関して「研究室の先輩が行っているのを聞いて興味を持った」という声があるなど、本プログラムが口コミなどを通じて学生に周知されはじめていると考えられる。本プログラムでは、派遣学生に対し、個人情報保護のルールを守ったうえでSNSでの積極的な発信を推奨しており、それらを通じてプログラムの認知が広がっていることが期待されるほか、例年開催している成果発表会においても聴講する教員などを通じての認知拡大にも期待される。

中国海洋大学については派遣希望者がなく、今年度も派遣することはできなかったが、引き続き広報活動を行い、学生を派遣できるようにしていきたい。

【特に優れた取組】

学生によるSNS発信や成果発表会における発表動画の公開などを含めた多角的な広報活動により、実績のある韓国とマレーシアの2カ国については継続的な派遣実績が達成されている。本プログラムが一定層の学生に定着していると考えられる。

事後アンケートにおいても各項目5点満点で平均4点以上を維持しており、ソフト・ハードの両面で満足度の高い留学体験を提供できている。また、留学後のフォローアップとして行うTOEICの点数もほとんどの学生が留学前より上昇し、基礎的な英語力の向上とともに英語でコミュニケーションを取ることに障壁が消えたとの感想が寄せられている。これは事前の英語力アップコースによる基礎力の補強と留学による実践がよく機能しているためだと評価される。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

令和6年度は韓国・マレーシアの両国からそれぞれ5名の留学生を受け入れた。中国からの留学生は先方の募集手続の不備により本年度は受け入れ無しとなった。前2国については当初設定した受入上限数となっており、順調な受入状態が維持されている。事後アンケートでの留学生からの評価も総じて満足度が高く、極めて順調に受入事業を進展させている。短期受入プログラムについては後半に行われる研究室インターンシップへの評価が特に高く、期間を延長したり選抜肢を増やしたりすることへの要望もあるため、今後は対応していきたい。

【特に優れた取組】

今年度は韓国・マレーシアの両国については当初想定した定員いっぱいを受け入れることができ、カウンターパート大学との関係が良好であり、良いサイクルが構築されていると考えられる。

受入プログラムとしては英語による講義のほか、関連施設の見学を含んだエクスカージョン、研究室インターンシップ（1週間×2研究室）を提供し、特に実践的な後2者は学生からの事後評価も高い。また、受入学生には本学学生から生活補助員を雇用し、学生目線でのサポート体制を確立した。生活補助員は過去に同プログラムに参加した学生や本年度以降の応募を考えている学生、留学生など多様なバックグラウンドから選出され、コミュニティ内での交流自体が国内留学のような効果を生み出し、プログラムの自律的な発展を促している。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数			3	3	3	3	3	3	3	3

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中国海洋大学	認定者数		2	3	3	3
	認定単位数		8	8	18	18
釜慶大学校	認定者数		2	3	3	3
	認定単位数		8	8	18	18
マレーシアトレンガヌ大学	認定者数		2	2	4	4
	認定単位数		8	8	16	16
年度別認定者数合計		0	6	8	10	10
年度別認定単位数合計		0	24	24	52	52

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数			2	3	2	3	2	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中国海洋大学	認定者数					
	認定単位数					
釜慶大学校	認定者数		2	3	1	
	認定単位数		8	12	4	
マレーシアトレンガヌ大学	認定者数		1	2	3	
	認定単位数		2	8	12	
年度別認定者数合計		0	3	5	4	0
年度別認定単位数合計		0	10	20	16	0

大学の世界展開力強化事業（令和3年度採択）
令和7年度フォローアップ調査票

大学名 (○が代表大学)	立教大学			
タイプ	タイプB①	※プルダウンから、タイプを選択してください。		
事業名	【和文】	リベラルアーツの高度化に向けたアジア4大学共同体 —国際共同副専攻によるグローバルリーダー育成		
	【英文】	The Asian Consortium for Excellence in Liberal Arts and Interdisciplinary Education (The ACE)		
事業責任者 <small>※交替年月日は変更があった 場合のみ記入</small>	(氏名)	松井秀征	(所属・職名) 国際化推進機構長	
	(交替年月日)			
海外相手大学追加調査分 相手大学名 <small>※追加調査を提出した 大学のみ記入</small>	大学名		国名	
		(日本語表記)		(英語表記)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
10				
大学の世界展開力強化事業に係る大学作成ウェブサイトのURL ※日本学術振興会ホームページにおいて、各事業のリンク先として使用 https://ace.rikkyo.ac.jp/				

2. 交流学生数の実績等 【(1) で6ページ以内、(2) (3) で1ページ】

(1) 交流する学生数について

① プログラム全体の派遣・受入交流学生数(計画)

● 申請時の計画調書記載人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	54	22	73	50	61	86	61	86	249	244
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	18	7	25	14	19	26	19	28	81	75
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	36	15	48	36	42	60	42	58	168	169
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 海外相手大学追加調書分

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

● 合計人数

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	54	22	73	50	61	86	61	86	249	244
実際に渡航する学生 (以下「実渡航」)	0	0	18	7	25	14	19	26	19	28	81	75
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 (以下「オンライン」)	0	0	36	15	48	36	42	60	42	58	168	169
実渡航とオンライン受講を行う学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② プログラム全体の派遣・受入交流学生数(実績)

各年度の派遣及び受入人数(交流期間、単位取得の有無等の内訳は(iii)表参照)	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	6	0	18	21	22	12	48	36	0	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)	0	0	16	15	22	6	28	30		
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生 (以下「オンライン」)	A 0	A 0	A 2	A 6	A 0	A 0	A 0	A 0	A	A
	B 6	B 0	B 0	B 0	B 0	B 6	B 20	B 6	B	B
実渡航とオンライン受講を行った学生(以下「ハイブリッド」)	0	0	0	0	0	0	0	0		
達成目標に対する実績の割合	#DIV/0!	#DIV/0!	33%	95%	30%	24%	79%	42%	0%	0%

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

④：【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国・地域別 内訳】(実績)

		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計							
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入						
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数		6	0	18	21	19	12	48	36	0	0	91	69						
交流相手国 中国	実渡航	0	0	0	0	0	1	12	0			12	1						
	オンライン	A	0	A	0	A	2	A	6	A	0	A	0	A	0	A	0	2	6
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	4	B	0	B	0	4	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 韓国	実渡航	0	0	6	9	0	5	12	11			18	25						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	6	A	0	A	0	0	6
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	6	B	16	B	0	B	0	16	6
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 ASEAN	実渡航	0	0	2	6	0	0	4	1			6	7						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 中国及び韓国	実渡航	0	0	0	0	16	0	0	18			16	18						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 中国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	1	0	0	0			1	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 韓国及びASEAN	実渡航	0	0	0	0	2	0	0	0			2	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
交流相手国 中国、韓国及びASEAN	実渡航	0	0	8	0	0	0	0	0			8	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	6	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	6	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						
自己負担又は大学負担等による交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0	0	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	B	0	0	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0						

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑥：【交流形態別 内訳】（実績）

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	
【交流形態別 内訳】											
①単位取得を伴う 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	0	0	4	0	4	0	4	18	0	0
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②単位取得を伴う 交流期間30日以上3ヶ月未満の交流 学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③単位取得を伴う 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	10	3	3	12	32	10	0	0
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	6	B	20
	ハイブリッド	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
④上記以外の 交流期間30日未満の交流学生数	実渡航	6	0	4	18	12	0	12	8	0	0
	オンライン	A	0	A	0	A	6	A	0	A	0
		B	6	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤上記以外の 単位取得を伴う交流期間30日以上 3ヶ月未満の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥上記以外の 交流期間3ヶ月以上の交流学生数	実渡航	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オンライン	A	0	A	0	A	0	A	0	A	0
		B	0	B	0	B	0	B	0	B	0
	ハイブリッド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

A	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
B	もともとオンライン実施で準備していたもの

⑦：宿舎の提供について（実績）

宿舎（大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等） を提供した学生数	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
	0	0	18	15	19	6	28	30			65	51

⑧ 同窓会ネットワークへの参加者数について（実績） ※タイプA①・タイプA②のみ

第2モードまでの間に準備を進めてきた同窓会ネットワークへの参加者数について	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
						0

⑨：交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

当初予定していた、オンライン科目の提供による学生の交流は、各国においてコロナ終息後に取り組みが鈍化したことによって、目標値到達が困難な状況となっている。2024年度はオンライン科目履修者数が一定数確保でき、履修者からは非常に好評であったものの、2025年度開講の科目の履修者は大幅に減少しており、学生のオンライン科目離れが顕著となっている。オンラインによる取組については、個別大学の問題ではなく、オンラインを単位として認めないなどの国の単位認定制度に左右される部分が多い。このため、単位認定制度に拠らない学生にとって有用な取組として、オンラインタンドムプログラムによる言語学習の実現に向けて準備を進めたい。

一方で実渡航は、2022年度派遣において目標値に2名到達しなかったが、2023年度派遣、2024年度派遣は目標値を達成しており、事業開始年度から2024年度の4年度間の実渡航派遣目標62名に対して66名を実現し、4年度間の実渡航については当初の目標を上回る形で推移している。なお、いずれにもカテゴライズできなかった本学主催のインテンシブプログラム本学参加者（2022年度8名、2024年度9名）を加算すると延べ83名が対面プログラムに参加しており、対目標値134%となっている。

【特に優れた取組】

ACEプログラムでは6Cスキル（Critical Thinking, Collaboration, Communication, Consilience, Challenge, Cosmopolitan）のスキルの向上を目的とし、長期派遣においては、2大学連続の交換留学およびインテンシブプログラムへの参加を義務付けている。この経験によって、2大学プラス立教大学の3大学におけるリベラルアーツの学びを実践し、複眼的な視点によって分析を行うCritical Thinkingの能力が養われ、留学期間を通してCollaboration, Communicationに向けた意識を育み、様々な視点から獲得した経験を基にConsilience（知の統合）を目指す。またインテンシブプログラムでは、決められた期間・テーマを学びグループワークを通して課題解決を提案する経験を通して、複雑な課題にChallengeし、国際的な視点から分析を行ってCosmopolitanの感覚を養成している。6Cスキルは渡航前の説明だけでなく、中間報告会、月例報告書、帰国後留学報告書、成果報告会といった機会を設け、プログラム過程に複数回にわたって言語化して振り返らせることで、一度言語化した経験を新たな視点から再定義させる。この再定義の作業こそは、過去の視点による解釈を高次の視点から見直すメタ分析を促し、参加者の成長を実感させる機会となる。

⑩：交流プログラム(受入)の進捗状況のコメント

当初予定していた、オンライン科目の提供による学生の交流は、各国においてコロナ終息後に取り組みが鈍化したことにより、目標値到達が困難な状況となっている。また、宿舍の確保および、学生支援経費30%以内の制限があることから、安易に学生受入を増加させることができない状況にある。このような中で短期のプログラム(インテンシブプログラム)の実施は活発に行われており、日本国内開催のある年度においては、学生受入数が増加している。

2024年度はオンライン科目履修者数が一定数確保でき、履修者からは概ね好評であったものの、2025年度開講の科目については履修者が減少しており、学生のオンライン科目離れが顕著となっている。

実渡航については2023年度受入において目標値に到達しなかったものの、2022年度受入、2024年度は受入の目標値を達成し、2021年度から2024年度の4年度の実渡航受入目標47名に対して51名を実現しており、4年度間の実渡航については当初の目標をやや上回る形で推移している。

オンラインによる取組については、個別大学の問題ではなく、各国における単位認定制度の方針に左右される部分が大きいため、単位認定制度に拠らない学生にとって有用な取り組みとしてオンラインタンドムプログラムによる言語学習の実現に向けて準備を進めたい。

【特に優れた取組】

ACEプログラムで受け入れた学生に対しては、推奨科目群としてリベラルアーツだけではなく、本学の推進するリーダーシップに関する科目の提供を行っている。また、ACEプログラムで受け入れた学生は、本学11学部1プログラムおよび一部大学院が展開する科目のほとんどを履修する機会を提供しており、高度な専門性を備えた科目履修を可能としており、受入学生からは好評を博している。

また、本学が開催したインテンシブプログラムでは、2022年度はリーダーシップ、2024年度は減災・防災に関するテーマを上げており、文化をテーマとしない難しいテーマに取り組み、各国を担うであろう学生たちが母国において活躍することを想定してテーマを掲げてきた。

本学における受入プログラムは長期受入では母国で幅広い関心を持つ者に対して専門的な学びの機会を提供すると共に、短期受入では文化以外の学びを通してリベラルアーツを考える機会を提供している。

(3) 任意指標 ※タイプA②・タイプB②のみ

① 本事業で設定している任意指標

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

② 2024年度末における目標の達成状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(指標1)					
(指標2)					
(指標3)					
(指標4)					
(指標5)					

③ 進捗状況のコメント

【特に優れた取組】

(5) 本事業における海外相手大学との単位互換の目標と実績

【本事業で計画している海外相手大学との単位互換の達成目標】

(i) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する海外相手大学数	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学 【大学名：立教大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ソウル大学校	認定者数	0	26	29	17	29
	認定単位数	0	92	96	72	96
北京大学	認定者数	0	14	28	28	16
	認定単位数	0	68	96	96	72
シンガポール国立大学	認定者数	0	14	16	16	16
	認定単位数	0	68	72	72	72
年度別認定者数合計		0	54	73	61	61
年度別認定単位数合計		0	228	264	240	240

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0

【2024年度末における目標の達成状況】

(i) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

(単位：校)

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施した海外相手大学数	0	0	1	1	3	2	3	2		

(ii) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

(単位：認定者数は人、認定単位数は単位)

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

(i) 代表申請大学 【大学名：立教大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ソウル大学校	認定者数	0	2	6	18	
	認定単位数	0	24	70	52	
北京大学	認定者数	0	0	8	6	
	認定単位数	0	0	34	28	
シンガポール国立大学	認定者数	0	0	3	3	
	認定単位数	0	0	25	39	
年度別認定者数合計		0	2	17	27	0
年度別認定単位数合計		0	24	129	119	0

2. 国内連携大学 【大学名： 大学】

相手大学名		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
	認定者数					
	認定単位数					
年度別認定者数合計		0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計		0	0	0	0	0